

元総社蒼海遺跡群(134)

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

2
0
2
0
·
2

2020.2

前橋市教育委員会

元総社蒼海遺跡群(134)

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

2020.2

前橋市教育委員会

卷頭図版1 [遺構: 調査区全景]



調査区全景（垂直・上が東）



調査区全景（調査区東より浅間火山を俯瞰）W-1 の延長に浅間火山が見えるが緯度は1分4秒異なる。

卷頭図版2 [遺構・遺物: W-1]



W-1 全景（東）



W-1 土層断面（東）

W-1 出土遺物（第20図-8）

はじめに

前橋市は、関東平野の北西部に位置し、名山赤城山を背に利根川や広瀬川が市街地を貫流する、四季折々の風情に溢れる群馬県の県都です。市域は豊かな自然環境に恵まれ、2万年前から人々が生活を始め、市内のいたる所にその息吹を感じられる遺跡や史跡、多くの歴史遺産が存在します。

古代において前橋台地には、広大に分布する穀倉地帯を控え、前橋天神山古墳などの初期古墳をはじめ、王山古墳・天川二子山古墳といった首長墓が連綿と築かれ、上毛野国を中心地として栄えました。また、続く律令時代になってからは總社・元總社地区に山王廃寺、国府、国分僧寺、国分尼寺など上野国の中核をなす施設が次々に造られました。

中世になると、戦国武将の長尾氏、上杉氏、武田氏、北条氏が鎧をけずった地として知られ、近世においては、譜代大名の酒井氏、松平氏が居城した関東三名城の一つに数えられ、「関東の華」とも呼ばれた厩橋城が築かれました。

やがて近代になると、生糸の一大生産地となり、横浜港から前橋シルクの名前で遠く海外に輸出され日本の発展の一翼を担いました。

今回、報告書を上梓する元總社蒼海遺跡群(134)は古代上野国の中核地域の調査であり、上野国府推定地域にも近接することから、調査成果に多くの注目を集めております。発掘調査の結果、上野国府が存在した時期の区画溝跡が確認されました。この溝自体は、これまで他の地点でも確認されていましたが、今回の調査地点での残存状況は良好なものでした。他に古墳時代などの住居跡も多数確認されています。残念ながら、現状のままでの保存が無理なため、記録保存という形になりましたが、今後、地域の歴史・前橋の歴史を解明する上で、貴重な資料を得ることができました。

最後になりましたが、関係機関や各方面の多大なるご配慮・ご尽力により調査事業を円滑に進めることができました。また、直接調査に携わってくださった担当者・作業員のみなさんに厚くお礼申しあげます。

本報告書が斯学の発展に少しでも寄与できれば幸いに存じます。

令和2年2月

前橋市教育委員会

教育長 塩崎政江

例　　言

- 1 本書は、前橋都市計画事業元総社若海土地区画整理事業に伴って実施した元総社若海遺跡群(134)の発掘調査報告書である。
- 2 遺跡の所在地 群馬県前橋市総社町3588-1・3588-2・3588-3の各一部
- 3 調査は、前橋市教育委員会の指導のもとに委託者 前橋市長 山本 龍(都市計画部区画整理課)の委託を受け、スナガ環境測設株式会社(代表取締役 須永眞弘)が実施した。
発掘担当者 並木史一(前橋市教育委員会)
瀧澤典雄(スナガ環境測設株式会社)
- 4 発掘調査期間 令和元年7月16日～令和元年9月26日
整理期間 令和元年9月27日～令和2年2月28日
- 5 調査面積 259.0m²
- 6 本調査における図面・写真・遺物・PDF等の記録は、前橋市教育委員会文化財保護課で保管している。
- 7 発掘は、調査計画…須永眞弘、安全管理・助言…金子正人、平面測量…須永薰子・岡田弥生、断面実測…瀧澤典雄・田口洋子・高橋ゆき子、遺構撮影…瀧澤典雄、重機オペレーター…武井知司、事務連絡…夏原淑子、作業事務…須永 豊が担当した。
- 8 本書は前橋市教育委員会の指導のもと、スナガ環境測設株式会社が作成した。
I調査に至る経緯は並木史一(前橋市教育委員会)、それ以外は瀧澤典雄が、校正は須永眞弘・金子正人が担当した。
- 9 整理は以下の分担で行った。
測量データ整理、断面図トレース、遺物撮影……………須永薰子
遺物と写真、遺構データの整理・計測・採拓、遺構図整図、断面図の整合・トレースと
遺構捕図、遺構図版作製、成果品納品準備……………岡田弥生
データ入力、遺物実測図トレースと遺物捕図、遺物観察表、遺物図版作製、成果品納品準備…夏原淑子
遺物洗浄・注記…田口洋子・高橋ゆき子：遺物実測…瀧澤典雄・山崎由紀枝：内業事務…須永 豊
- 10 遺構掘削作業は武井知司、今井保美、多胡栄夫、生駒朝男、多胡茂子、染谷綾子、萩原 誠、内田昭男・笛尾信治、清水源治、栗田 満、高井敏男、進藤祐孝、菊川 級、西谷徳雄・竹内利夫、田辺晴彦・佐復 進が担当した。
- 11 資・器材搬入出作業は長澤俊男・山形春男が担当した。
- 12 空搬はP.I.Aシセイドー(代表 守谷純一)に依頼して行った。

凡　　例

- 1 遺跡のコード番号は1A241である。
- 2 第1図は前橋市現行図、第2図は国土地理院現行図、第3図は国土地理院現行図である。
- 3 遺構名またはその略号は次のとおりである。
堅穴建物跡…堅穴住居跡・H 溝跡…W 土坑…D 堅穴住居跡内ピット…P1
- 4 実測図の縮尺は次のとおりである。
遺構 堅穴住居跡・土坑…1/60 溝跡…1/100 堅穴住居跡龜…1/30 全体図…1/100
遺物 土器…1/3・1/4 瓦…1/6 石製品…1/3 鉄・銅製品…1/2・1/3 墓輪…1/3
鉄滓・羽口…1/2
- 5 計測値については、()は現存値、〔 〕は推定値を表す。
遺物観察表の法度で①は口径、②は底径、③は最大径(幅)、④は器高(長さ)を表し、単位はcmであり、重さの単位はg(グラム)である。
- 6 土層断面の土色名および土器類の色調名は、『新版標準土色帖』(農林省農林水産技術会議事務局監修財團法人日本色彩研究所 色票監修)2000に依った。
- 7 実測図中のスクリーントーンは下記のとおりである。
遺構図 燃土…■ 炭化物…■ 構築面…■
遺物図 須恵器断面…■ 緑・灰釉陶器の釉…■
- 8 火山降下物等の略称と年代は次のとおりである。
As-B(浅間火山B軽石：1108年降下) Hr-FA(榛名火山ニッケル渋川テフラ：6世紀初頭降下)
- 9 図版の(方位)は遺構に対する撮影位置を表す。

目 次

卷頭図版

はじめに

例言・凡例

目次・挿図目次・表目次・図版目次

| | |
|--------------------------|---|
| I 調査に至る経緯 | 1 |
| II 遺跡の歴史的環境 | 2 |
| III 遺跡の地理的環境と基本層序 | 4 |
| 1 遺跡の地理的環境 | 4 |
| 2 基本層序 | 4 |
| IV 調査の方針と経過 | 5 |
| 1 調査の方針 | 5 |
| 2 調査の経過 | 5 |
| V 検出された遺構と遺物 | 6 |
| 1 墓穴住居跡 | 6 |
| 2 溝跡 | 8 |
| 3 土坑 | 8 |
| VI 総括 | 9 |

挿図・遺物観察表・図版・抄録

挿 図 目 次

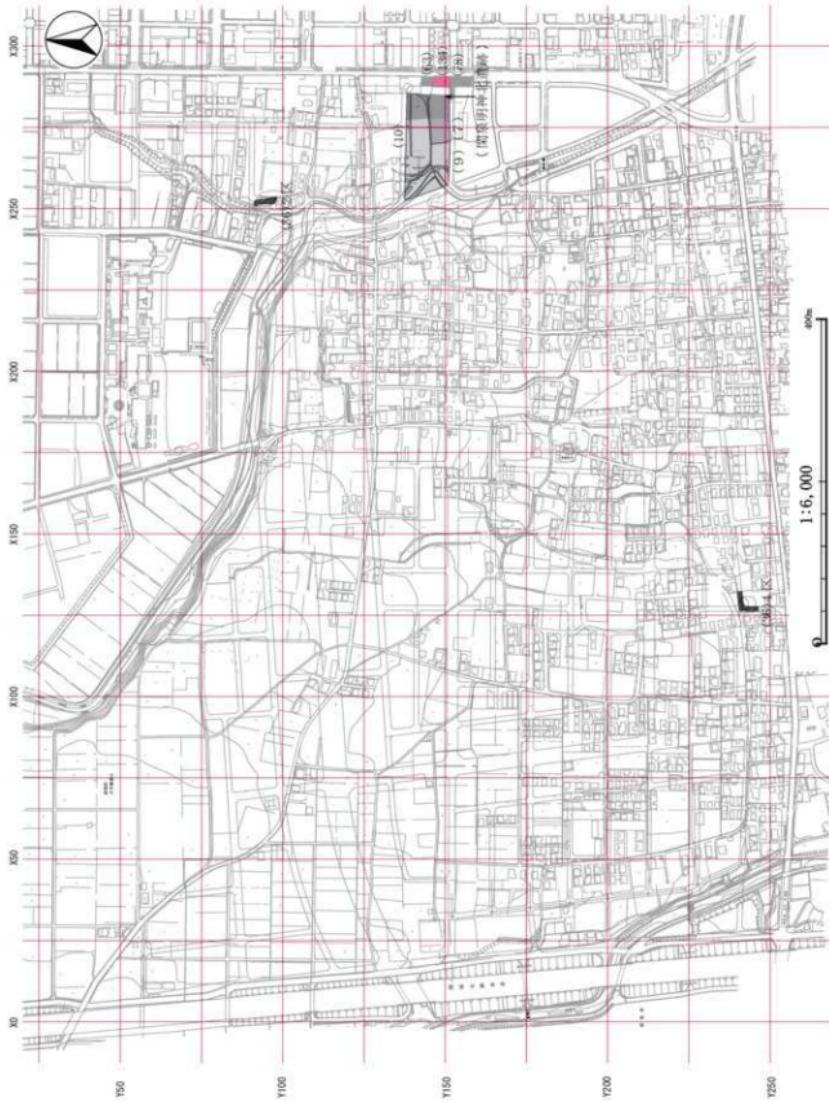
| | | | |
|--|-----|--|----|
| 第1図 元総社舊海道跡群調査区位置図・グリッド設定図 | iii | 第12図 H-6(3)・8(3)・12(3) 遺構図 | 16 |
| 第2図 遺跡位置図 | 1 | 第13図 H-10(2)、D-2 遺構図 | 17 |
| 第3図 周辺遺跡図 | 3 | 第14図 H-7・9(1)・11(2)・12(4)・13(1)、D-4(1) 遺構図 | 18 |
| 第4図 基本層序模式図 | 4 | 第15図 H-9(2)・11(3)・13(2)、D-4(2) 遺構図 | 19 |
| 第5図 元総社舊海道跡群周辺地層断面図 | 4 | 第16図 W-1・2・3、D-3 遺構図 | 20 |
| 第6図 元総社舊海道跡群(134)全体図 | 10 | 第17図 H-1・2・3・4・5・6(1) 遺物図 | 21 |
| 第7図 H-1・2 遺構図 | 11 | 第18図 H-1・2・7・8 遺物図 | 22 |
| 第8図 H-3(1)・5、D-1 遺構図 | 12 | 第19図 H-9・10・11・13 遺物図 | 23 |
| 第9図 H-3(2)・4・5・14 遺構図 | 13 | 第20図 W-1 遺物図 | 24 |
| 第10図 H-6(1)・8(1)・12(1)、D-5 遺構図 | 14 | 第21図 W-2・3、D-5、調査区一括遺物図 | 25 |
| 第11図 H-6(2)・8(2)・10(1)・11(1)・12(2) 遺構図 | 15 | | |

表 目 次

| | | | |
|-------------------------|----|----------------------------|----|
| 第1表 土坑計測表 | 8 | 第3表 H-7・8・9・10・11・13 遺物観察表 | 27 |
| 第2表 H-1・2・3・4・5・6 遺物観察表 | 26 | 第4表 W-1・2・3、D-5、調査区一括遺物観察表 | 28 |

図 版 目 次

| | | |
|---|--------------------|-------------------|
| 卷頭図版 1 遺構：調査区全景 | H-10・12全景(西) | H-11全景(南) |
| 調査区全景(垂木・上が東) 調査区全景(調査区東より霞間火山を俯瞰) | H-11全景(西) | H-11遮蔽り方、D-2全景(西) |
| 卷頭図版 2 遺構・遺物：W-1 | 図版4 遺構：H-1・2・3、D-1 | W-1全景(東) |
| W-1全景(東) W-1土層断面(東) W-1出土遺物 | W-1硬化面全景(東) | W-1炭化物・焼土検出状況(北) |
| 図版1 遺構：H-1・2・3、D-1 | W-1硬化面上断面(東) | W-1遺構樹木探査坑全景(南) |
| H-1遺物出土状況(西) | W-1全景(西) | W-1土層断面(西) |
| H-2全景(北) | W-2全景(西) | W-3全景(南) |
| H-3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・13・14・15・16・17・18・19・20・21・22・23・24・25・26・27・28・29・30・31・32・33・34・35・36・37・38・39・40・41・42・43・44・45・46・47・48・49・50・51・52・53・54・55・56・57・58・59・59・60・61・62・63・64・65・66・67・68・69・70・71・72・73・74・75・76・77・78・79・80・81・82・83・84・85・86・87・88・89・90・91・92・93・94・95・96・97・98・99・100・101・102・103・104・105・106・107・108・109・110・111・112・113・114・115・116・117・118・119・120・121・122・123・124・125・126・127・128・129・130・131・132・133・134・135・136・137・138・139・140・141・142・143・144・145・146・147・148・149・150・151・152・153・154・155・156・157・158・159・160・161・162・163・164・165・166・167・168・169・170・171・172・173・174・175・176・177・178・179・180・181・182・183・184・185・186・187・188・189・190・191・192・193・194・195・196・197・198・199・199・200・201・202・203・204・205・206・207・208・209・210・211・212・213・214・215・216・217・218・219・220・221・222・223・224・225・226・227・228・229・229・230・231・232・233・234・235・236・237・238・239・239・240・241・242・243・244・245・246・247・248・249・249・250・251・252・253・254・255・256・257・258・259・259・260・261・262・263・264・265・266・267・268・269・269・270・271・272・273・274・275・276・277・278・279・279・280・281・282・283・284・285・286・287・288・289・289・290・291・292・293・294・295・296・297・297・298・299・299・300・301・302・303・304・305・306・307・308・309・309・310・311・312・313・314・315・316・317・318・319・319・320・321・322・323・324・325・326・327・328・329・329・330・331・332・333・334・335・336・337・338・338・339・340・341・342・343・344・345・346・347・348・348・349・350・351・352・353・354・355・356・357・358・359・359・360・361・362・363・364・365・366・367・368・368・369・370・371・372・373・374・375・376・377・378・378・379・380・381・382・383・384・385・386・387・387・388・389・389・390・391・392・393・394・395・396・397・397・398・399・399・400・401・402・403・404・405・406・407・407・408・409・409・410・411・412・413・414・415・415・416・417・417・418・419・419・420・421・422・423・424・425・425・426・427・427・428・429・429・430・431・432・433・434・435・436・437・437・438・439・439・440・441・442・443・444・445・446・447・447・448・449・449・450・451・452・453・454・455・456・457・457・458・459・459・460・461・462・463・464・465・466・466・467・468・468・469・469・470・471・472・473・474・475・476・477・477・478・479・479・480・481・482・483・484・485・486・487・487・488・489・489・490・491・492・493・494・495・496・497・497・498・499・499・500・501・502・503・504・505・506・507・507・508・509・509・510・511・512・513・514・515・516・517・517・518・519・519・520・521・522・523・524・525・526・527・527・528・529・529・530・531・532・533・534・535・536・537・537・538・539・539・540・541・542・543・544・545・546・547・547・548・549・549・550・551・552・553・554・555・556・557・557・558・559・559・560・561・562・563・564・565・566・566・567・568・568・569・569・570・571・572・573・574・575・576・577・577・578・579・579・580・581・582・583・584・585・586・587・587・588・589・589・590・591・592・593・594・595・596・597・597・598・599・599・600・601・602・603・604・605・606・607・607・608・609・609・610・611・612・613・614・615・616・616・617・618・618・619・619・620・621・622・623・624・625・626・626・627・628・628・629・629・630・631・632・633・634・635・636・637・637・638・639・639・640・641・642・643・644・645・646・646・647・648・648・649・649・650・651・652・653・654・655・656・657・657・658・659・659・660・661・662・663・664・665・666・666・667・668・668・669・669・670・671・672・673・674・675・676・676・677・678・678・679・679・680・681・682・683・684・685・686・686・687・688・688・689・689・690・691・692・693・694・695・696・696・697・698・698・699・699・700・701・702・703・704・705・706・706・707・708・708・709・709・710・711・712・713・714・715・716・716・717・718・718・719・719・720・721・722・723・724・725・726・726・727・728・728・729・729・730・731・732・733・734・735・736・736・737・738・738・739・739・740・741・742・743・744・745・746・746・747・748・748・749・749・750・751・752・753・754・755・756・756・757・758・758・759・759・760・761・762・763・764・765・766・766・767・768・768・769・769・770・771・772・773・774・775・776・776・777・778・778・779・779・780・781・782・783・784・785・786・786・787・788・788・789・789・790・791・792・793・794・795・796・796・797・798・798・799・799・800・801・802・803・804・805・806・806・807・808・808・809・809・810・811・812・813・814・815・816・816・817・818・818・819・819・820・821・822・823・824・825・826・826・827・828・828・829・829・830・831・832・833・834・835・836・836・837・838・838・839・839・840・841・842・843・844・845・846・846・847・848・848・849・849・850・851・852・853・854・855・856・856・857・858・858・859・859・860・861・862・863・864・865・866・866・867・868・868・869・869・870・871・872・873・874・875・876・876・877・878・878・879・879・880・881・882・883・884・885・886・886・887・888・888・889・889・890・891・892・893・894・895・896・896・897・898・898・899・899・900・901・902・903・904・905・906・906・907・908・908・909・909・910・911・912・913・914・915・916・916・917・918・918・919・919・920・921・922・923・924・925・926・926・927・928・928・929・929・930・931・932・933・934・935・936・936・937・938・938・939・939・940・941・942・943・944・945・946・946・947・948・948・949・949・950・951・952・953・954・955・956・956・957・958・958・959・959・960・961・962・963・964・965・966・966・967・968・968・969・969・970・971・972・973・974・975・976・976・977・978・978・979・979・980・981・982・983・984・985・986・986・987・988・988・989・989・990・991・992・993・994・995・996・996・997・998・998・999・999・1000 | | |



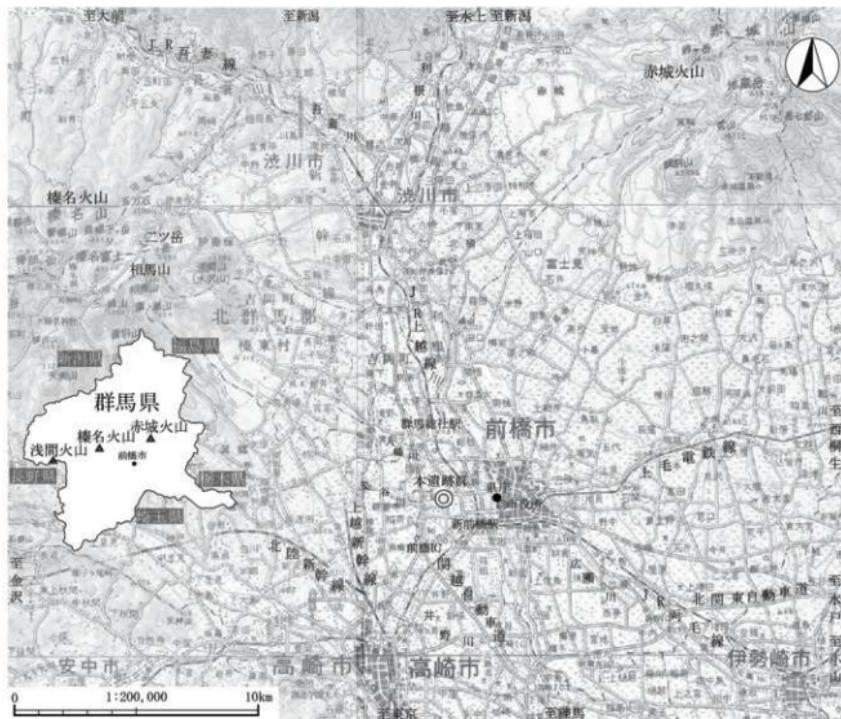
第1図 元総社蒼海遺跡群調査区位置図・グリッド設定図

I 調査に至る経緯【第1・2回】

本発掘調査は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴い実施され、21年目にあたる。本調査地は、周辺で埋蔵文化財調査が長年にわたって行われていることから、遺跡地であることが確認されている。

令和元年5月7日付で前橋市長 山本 龍（区画整理課）（以下「前橋市」という。）より、埋蔵文化財発掘調査・整理業務に係る依頼が、前橋市教育委員会（以下「市教委」という。）に提出された。市教委では既に他の発掘調査を実施中のため、市教委直営による調査実施が困難であると判断し、民間調査組織へ発掘調査業務を委託することで合意に至った。業務実施にあたっては市教委の作成する調査仕様書に則り、市教委による監理・指導のもと発掘調査を実施することとなった。同年6月26日付で前橋市と民間調査組織であるスナガ環境測設株式会社との間で業務委託契約が締結され発掘調査に着手した。

なお、遺跡名称「元総社蒼海遺跡群(134)」（遺跡コード：IA241）の「元総社蒼海」は土地区画整理事業名を採用し、「(134)」は過年度に実施した発掘調査と区別するために付したものである。



第2回 遺跡位置図

II 遺跡の歴史的環境【第3回】

旧石器時代 本調査区の地形形成期を含むため検出されていない。

縄文時代 地形形成の終わる前期以降、遺構・遺物が検出され始め、特に中期以降は、本遺跡群をはじめ周辺の遺跡から遺構や遺物の検出が増えるが、山麓部に比べれば希薄である。

弥生時代 中期には環濠集落である清里庚申塚遺跡（地図外）が形成され、後期には環濠集落である日高遺跡から方形周溝墓・水田跡など集落・墓・生產遺構がセットで検出された。

古墳時代 前期にはS字状口縁台付甕を伴う方形周溝墓などの遺構が本遺跡群でもみられるようになる。中期後半の5世紀後半には遠見山古墳が築造され總社古墳群の形成が始まる。後期の6世紀初頭には王山古墳が後円部の表面を川原石で厚く小口積した導入期の横穴式石室墳であり、6世紀後半築造の總社二子山古墳は明治初期に豊城入彦墓として墓丁が置かれたことがある。終末期の7世紀になると、凝灰岩製家形石棺を有する愛宕山古墳や家形石棺を有した副室構造の截石切組積石室を構築する宝塔山古墳、截石切組積石室墳の蛇穴山古墳が築造され、江戸時代の吉田芝溪『上毛上野古墓記』や奈佐勝臥『山吹日記』、中世の『神道集』の記述により古くから注目されていたことが窺える。

集落は5世紀後半以降に本遺跡群をはじめ大屋敷遺跡・鳥羽遺跡など近隣の遺跡に見られるようになる。

古代 寺院では7世紀代に法起寺式伽藍配置の山王寺が建立され、出土瓦銘と『上野国交替実録帳』の定額寺や山上碑文中の「放光寺」が同一寺院と考えられ、石造物と截石切組積石室の加工技術に類似性が指摘される。奈良時代に国分寺建立の詔が出されると上野国分僧寺・上野国分尼寺が建立された。妙見寺は10世紀中頃の様子を伝えるとされる『僧妙達蘇生注記』に登場し、『上野国交替実録帳』に記された「息災寺」のことともいわれる。神社では国司が奉幣する神を合祀した上野国總社神社が平安時代中頃以降に創祀され、その元宮とされる宮鍋神社が近くにあるが、下野・武藏の国府跡近くにも名称の似た神社がある。

現状の地割や『和名類聚抄』の記述等から本地域に上野国府が推測され、前橋市教育委員会の確認調査や元總社舊海遺跡群の調査で官衙的遺構や遺物が検出され解明されつつある。

灾害では818年に弘仁地震が発生し遺跡から地割れの痕跡が発見されることがある。840・843年には全国的な飢饉が起り、938年には平将門が上野国府を占領したとされ国府の衰退が推測される。

8世紀前半までの東山道駿路は南の牛堀・矢ノ原ルート（地図外）であり、本地域へ連絡する日高道も想定されているが、8世紀後半には東山道駿路国府ルートと呼ばれるルートに替わる。

本地域周辺以南には条里制の地割がみられ、日高遺跡など多くの遺跡からAs-B軽石に覆われた条里制水田遺構が検出され、微高地では集落遺構も調査されている。

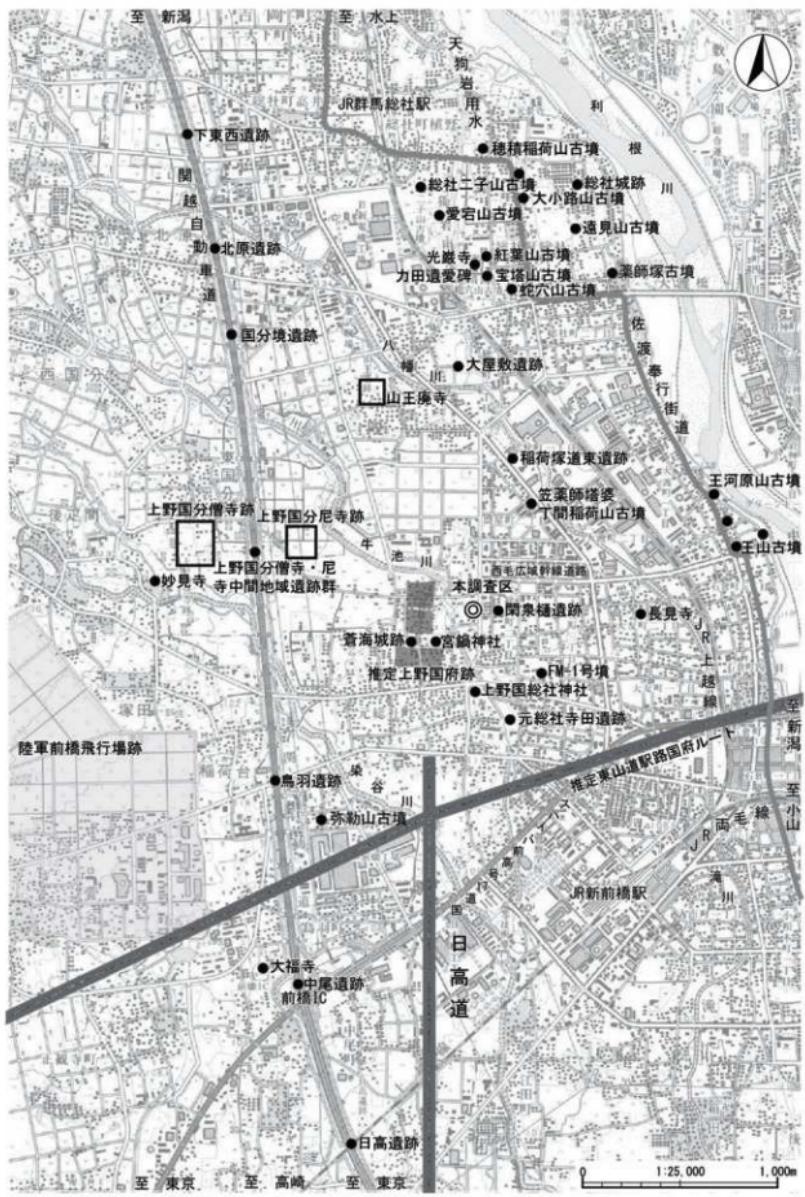
中世 総社長尾氏は列郭式縄張の蒼海城を拠点とする関東管領山内上杉氏の家宰であるが、山内上杉氏を裏切ったことから1527年駿橋長野方斎に攻められ、川越合戦の後に上杉氏が越後へ落ちると後北条氏の河西衆となつた。その後、武田信玄が落城祈願の願文を諂訪大社へ奉納して攻めかかり蒼海城は落城した。

信仰では丁間稲荷神社に古代末から中世初めの古い笠葉薬師塔婆という石造物が移設されている。大福寺には応永25年銘の赤塔と呼ばれる地域的な宝塔がある。長見寺は江戸時代に本山派修驗の正年行事職を務めたが、中世に総社長尾氏の大友館を時宗寺院としたもので、境内長尾家墓地に応永25年の在銘五輪塔がある。

近世以降 武田氏の後、諂訪氏が支配した。関ヶ原の後に秋元氏が總社城を居城として治め、天狗岩用水を開削して新田を開発させたので、後に領民は力田遺愛碑という顕彰碑を秋元氏の菩提寺である光嚴寺に建てた。

交通では佐渡奉行街道が中世に起源のある三国道のひとつで總社城下には總社宿があった。

近代には太平洋戦争末期の陸軍前橋飛行場が本地域に建設され現在も地割に痕跡が残っている。



第3図 周辺遺跡図

III 遺跡の地理的環境と基本層序

1 遺跡の地理的環境 [参照図版 第1・2・3・4・5図]

本遺跡群が所在する前橋市総社町・元総社町地区は南に御荷鉢山や関東山地の山々、西に県境の浅間火山や妙義山・荒船山、北西に榛名火山、北の小野子山・子持山から北東の赤城火山その奥に武尊山や上越国境の山まで望め、東は広大な関東平野へと続く。

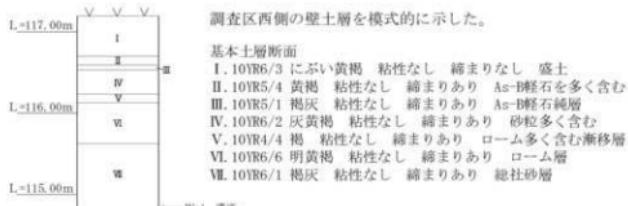
本地域の東を利根川が南流するが、2万5千年前には本地域も河川の一部であったらしく前橋砂礫層と呼ばれる疊層が厚く堆積する。この層には2万4千年前頃の浅間火山黒斑山崩壊に伴う前橋泥流層が分布しており、その地域を前橋・高崎・伊勢崎台地と呼んでいる。前橋泥流層の上には再び流路となったようで元利根川砂礫層がある。榛名火山相馬山は2万年前頃に山体崩壊を起し陣場岩なだれ堆積物が相馬ヶ原扇状地を形成し、その扇端に押されて利根川流路は赤城山南山西麓方向へ漸替した。本地域はこの前橋台地が相馬ヶ原扇状地扇端と接する位置にある。この後、縄文時代前期頃までは總社砂層と呼ばれる地層を形成する時期に当たり、凝灰岩質の地層も存在する。その後も浅間火山仏岩・前掛山・釜山や榛名火山二ッ岳（オンマ谷）の噴火による降灰・土石流等が本地域に影響を与えていている。

利根川は、中世まで広瀬川流路を流れて広瀬川低地帯を形成し、中世末の洪水が小河川の流路を奪って流れ込み、現流路になったと考えられている。現在の前橋市は赤城火山山頂部から関東平野の西端部となる前橋台地にかけて位置し、本地域は前橋台地にあるが中心市街地とは利根川によって分かれている。

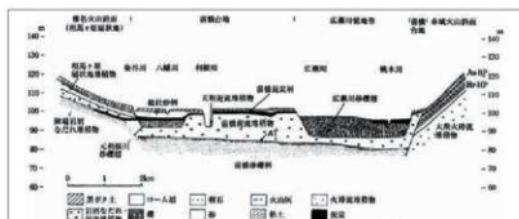
本地域には北から八幡川・牛池川・染谷川が南東流し台地を分断して利根川や井野川へ合流する。本遺跡群はこのうちの牛池川左岸に位置するが、現流路は河川改修により蛇行の解消や護岸がなされている。

現在の本遺跡群周辺の環境は、鉄道ではJR上越線・吾妻線が東に、両毛線が南東にある。道路では関越自動車道が西に、前橋ICが南に位置し、国道17号高前バイパスが接続し、また西毛広域幹線道路が本遺跡群を東西に貫く。このように交通網が整備され商業・宅地の開発が著しく県庁からは約2km西に位置する。

2 基本層序 [第4・5回]



第4図 基本層序模式図



第三回 亂世の始祖とその娘の悲劇

IV 調査の方針と経過

1 調査の方針 [第1・6図]

本調査区の調査面積は259.0m²である。調査区の設定については、グリッド座標は国家座標（日本測系）X=44,000・Y=-72,200を基点（X 0・Y 0）とする4mピッチの元総社蒼海遺跡群グリッドを使用し、本調査区では、西から東へX287・288・289・290、北から南へY146・147・148・149・150・151と付番する。

調査方法は、北側の表土掘削・遺構確認、W-1掘削・調査、南側の表土掘削・遺構確認、W-1北・南の遺構精査、写真撮影、測量を順に行う。

遺構平面図はトータルステーション測量で、堅穴住居跡・土坑は1/20、堅穴住居跡龜は1/10、溝跡は1/40、全体図は1/100、遺構断面図は人力計測で堅穴住居跡龜は1/10それ以外は1/20で作成する。遺物分布図に記録の遺物は点上げ、遺構確認時の一括遺物は、W-1確認以前は調査区一括、W-1確認以後は大溝北・南一括で分けて収納する。写真記録は35mmモノクロ・35mmリバーサル・デジタルカメラの3種類で行う。

2 調査の経過 [第1・6図]

令和元年7月16日までに資器材搬入や除草作業等、掘削前の準備作業を行った。

7月16日に重機(0.25m³)による表土掘削を調査区東北隅から発掘担当者立会のもと開始した。遺構確認面を探りながら掘削したが調査区北側は搅乱が激しくローム面まで下げざるを得なかつた。調査区東辺を1m幅で掘削したところ、W-1の南側ではAs-Bの混入土層が残存していたため、調査区の南西側でW-1以南はこの層の上面で遺構を確認しつつ掘削することにした。

排土置場として調査区南隣の[元総社蒼海遺跡群(78)の既調査区域]が指定されたため、表土は北側から掘削しキャリーダンプで運搬した。

調査区北西隅は浄化槽の埋設・撤去で深く搅乱されていたが、搅乱土を除去し遺構の有無を確認した。

調査区北辺に想定されていた元総社蒼海遺跡群(63)で検出のW-1南端が検出されないため、調査区北西隅を重機のパケット幅で1m北へ拡張してローム層まで掘削したが確認できなかつた。

W-1以北の表土掘削を終了後、遺構確認を行い、出土した一括遺物はW-1北と注記した。

次に重機によりW-1の表土・覆土の掘削に入った。W-1は東・西の断面の掘削深度が2mを超えると予想されたため段掘りすることにより調査区崖崩落防止の安全対策を行つたが、これにより断面図は不連続となつた。W-1を重機で掘削途中に硬化した面や焼土・炭化物がほぼ水平に堆積する面が確認されたためこれを平面的に確認するようにし、確認後は記録をして掘り下げた。W-1は掘削と同時に調査を行い、完了後は防災上の観点から安全な深さまで埋め戻すこととし、堅穴住居跡掘削の排土で埋めたため、空掘時はW-1が半分埋まつた状態の写真となつた。なおW-1調査時の一括遺物は上層部と下層部で分け、W-1上・W-1下と注記した。

この後W-1南側の表土掘削後、遺構確認を行い出土した一括遺物はW-1南と注記した。並行してW-1北側の堅穴住居跡を調査し進捗した段階でW-1南側のW-2・3の調査をした。

このW-2・3は調査後、サブトレレンチに転用して重複堅穴住居跡の確認を行い、W-1南側の遺構を順次調査した。

9月24日空撮を行い、すべての調査を終了させ、9月25日発掘担当者立会のもと完了確認を行つた。

同日より埋め戻し作業を行い、作業に際しては重機で厚さ30cm毎に整地・転圧した後、ローラーやランマーで転圧した。9月28日資器材撤収を行い作業を完了した。

整理は10・11月は遺物洗浄・注記・接合を行い、10・11月は担当が他業務で不在のため12月より遺構図作成、整合、遺物実測・トレースを行い、統いて原稿・表・図版・写真図版作成を行つて令和2年2月26日印刷した。

V 検出された遺構と遺物

1 墓穴住居跡

本調査区からは14軒の墓穴住居跡を検出した。W-1の北側で6軒、このうち5軒が古墳時代、1軒が平安時代の遺構である。南側では8軒、このうち6軒が古墳時代、2軒が平安時代の遺構である。

平安時代の墓穴住居跡はW-1と重複し、埋没後に構築されたものである。

H-1【参考図版】第6・7・17図 第2表 図版1・5

位置 X288~290、Y146~147 主軸方向 N-55°-E 規模 東西6.37m×南北(3.97)m×壁高(25.5)cm 形状 方形 床面 地山床(標高116.0m) 面積 (14.78)m² 重複 検出範囲で重複しない。竈 検出していない。壁周溝 深さ7cm検出範囲では周溝がほぼ全周する。間仕切溝 (5) 本検出した。貯蔵穴 長径(56.3)cm短径(45)cm深さ55cm。柱穴 P1 長径40cm短径38cm深さ65cm、P2 長径29cm短径28cm深さ37cm。出土遺物 土師器壺・壇・高坏・器台 時期 6世紀初頭 備考 元絶社蒼海遺跡群(63)のH-1と同一構造の可能性が高い。

H-2【参考図版】第6・7・17図 第2表 図版1・5

位置 X287・288、Y147~148 主軸方向 N-63°-E 規模 東西4.11m×南北(1.00)m×壁高(27.6)cm 形状 方形 床面 貼床(標高116.2m) 面積 (6.30)m² 重複 検出範囲で重複しない。竈 検出していない。壁周溝 検出していない。間仕切溝 検出していない。貯蔵穴 検出していない。柱穴 検出していない。出土遺物 土師器壺・壇・高坏 時期 6世紀前半 備考 覆土に焼土・炭化物を多量含む。

H-3【参考図版】第6・8・9・17図 第2表 図版1・5

位置 X288~290、Y147~148 主軸方向 N-60°-E 規模 東西6.80m×南北(3.60)m×壁高(36)cm 形状 方形 床面 僅かに貼床(標高116.1m) 面積 (16.69)m² 重複 H-5・W-1・D-1と重複しH-5・D-1>W-1>H-3の順に旧い。竈 主軸方向 N-24°-W 規模 長さ152cm×幅115cm×焚口幅31cm×袖高(18)cm。備考 袖の芯材に扁平な石材を使う。壁周溝 深さ5cm周溝は東壁・北壁で一部検出した。間仕切溝 検出していない。貯蔵穴 長径71cm短径66cm深さ38cm。柱穴 P1 径40cm深さ52cm、P2 長径53cm短径49cm深さ53cm、P3 長径32cm短径29cm深さ19cm。出土遺物 土師器壺・壇 時期 6世紀前半 備考 覆土に焼土・炭化物を多量含む。

H-4【参考図版】第6・8・9・17図 第2表 図版2・5

位置 X289・290、Y147~148 主軸方向 N-58°-E 規模 東西(1.75)m×南北3.20m×壁高(16)cm 形状 方形 床面 貼床(標高116.1m) 面積 (5.49)m² 重複 H-5・H-14と重複しH-5>H-4>H-14の順に旧い。竈 検出していない。壁周溝 検出していない。間仕切溝 (1) 本検出した。貯蔵穴 検出していない。柱穴 P1 長径42cm短径41cm深さ38cm。出土遺物 土師器壺 時期 6世紀前半 備考 H-14は掘り方で検出した。

H-5【参考図版】第6・8・9・17図 第2表 図版2・5

位置 X289・290、Y147~148 主軸方向 N-57°-E 規模 東西(1.74)m×南北(2.78)m×壁高(3)cm。(掘り方) 形状 方形 床面 竈周辺は地山床、他は貼床と思われる。H-3の断面図にH-5掘り方と思われる土層がある。(標高116.3m) 面積 (2.41)m² 重複 H-3・H-4・H-14・W-1と重複しH-5>W-1>H-3>H-14>H-4の順に旧い。竈 検出していないが東南隅に残骸が見える。

壁周溝 検出していない。間仕切溝 検出していない。貯蔵穴 検出していない。柱穴 検出していない。出土遺物 応須器高台付壇・灰釉陶器高台付壇 時期 10世紀後半 備考 扰乱により床面が削られ掘り方部分を検出した。

H-6【参考図版】第6・10・11・12・17・18図 第2表 図版2・5

位置 X288・289、Y149~151 主軸方向 N-2°-W 規模 東西4.58m×南北(4.65)m×壁高(30)cm 形状 不整形 床面 貼床(標高116.0m) 面積 (19.98)m² 重複 H-8・H-10・H-11・H-12・W-1・W-2・W-3と重複しW-2・W-3>H-6>W-1>H-8>H-12>H-10>H-11の順に旧い。竈 竈1 主軸方向 N-89°-E 規模 長さ181cm×幅94cm×焚口幅51cm×袖高(35)cm。備考 袖の芯材に河床礫を立て使う。竈2 主軸方向 N-100°-W 規模 長さ89cm×幅66cm×焚口幅18cm×袖高(2.8)cm。備考 燃焼部には焼土がない。焚き口前に焼土・灰・炭化物の分布が認められた。壁周溝 検出していない。間仕切溝 検出していない。貯蔵穴 検出していない。柱穴 P1 長径46cm短径43cm深さ29cm、P2 長径63cm短径59cm深さ26cm、P3 長径48cm短径43cm深さ36cm、P4 長径29cm短径27cm深さ11cm、P5 長径26cm短径22cm深さ12cm、P6 長径49cm短径46cm深さ23cm、P4・5はH-11の床で検出した。出土遺物 土師器壺・高坏・甕・台付甕・羽釜、須恵器壺・平瓦・円筒埴輪・銅鏡 時期 10世紀後半 備考 銅鏡は破片で器厚が1mm未満、口唇や肥厚して内側に浅い沈線が巡る。県内の出土銅鏡は19遺跡中古墳が9例、山王廢寺と出土地不詳の2例を除いた7例が集落から出土している⁽¹⁾とされ、集落出土の資料で破片が目立つなど類似した状況がある。古墳時代の土師器はH-8の遺物が混入と考えた。

(1) 参照正記「畿内小山、東京への土器の移行」『新編 高麗史』史述編1世紀古代 2003

H-7 【参考図版1 第6・14・18図 第3表 図版2・6】

位置 X287・288、Y151 主軸方向 N-37°-E 規模 東西(2.62)m×南北(1.95)m×壁高(20)cm。形状 方形 床面 貼床(標高116.4m) 面積(1.67)m² 重複 検出範囲で重複しない。**竈** この調査では検出していない。**壁周溝** 深さ3cm検出した範囲で周溝はほぼ全周する。**間仕切溝**(2)本検出した。**貯蔵穴** 検出していない。**柱穴** 検出してない。**出土遺物** 土師器壺 時期 6世紀前半 **備考** 元総社蒼海遺跡群(78)のH-6が同一遺構で竈を検出している。覆土に焼土・炭化物が多量に分布する。

H-8 【参考図版1 第6・10・11・12・18図 第3表 図版3・6】

位置 X288・289、Y150・151 主軸方向 N-36°-W 規模 東西(4.98)m×南北(5.17)m×壁高(2.9)cm。形状 方形 床面 貼床(標高116.0m) 面積[24.56]m² 重複 H-6・H-10・H-11・H-12・W-2・W-3と重複しW-2・W-3>H-6>H-8>H-12>H-10>H-11の順に旧い。**竈** 主軸方向 N-117°-W 規模 長さ113cm×幅72cm×焚口幅42cm×袖高(36)cm。**備考** 焚き口の天井や袖に凝灰岩切石を使う。**壁周溝** 深さ3cm周溝は西壁と北壁の西側で検出した。**間仕切溝** 検出してない。**貯蔵穴** 長径90cm短径67cm深さ65cm。**柱穴** P1 長径62cm短径54cm深さ30cm、P2 長径36cm短径25cm深さ36cm、P3 長径42cm短径34cm深さ36cm、P4 長径36cm短径31cm深さ30cm、P5 長径30cm短径(23)cm深さ33cm、P6 長径33cm短径(24)cm深さ32cm、P7 長径[60]cm短径55cm深さ11cm、P8 長径38cm短径(26)cm深さ33cm、P9 長径28cm短径27cm深さ25cm、D1 長径53cm短径41cm深さ45cm、P1~9はH-11の床で検出した。**出土遺物** 土師器壺・甕・須恵器壺・高壺 時期 6世紀後半 **備考** 10世紀後半の遺物をH-6との境付近に検出したが、H-6の壁が完全に出ていなかったものと判断し、H-6の遺物と考えた。

H-9 【参考図版1 第6・14・15・19図 第3表 図版3・6】

位置 X287・288、Y149・150 主軸方向 N-86°-E 規模 東西[2.30]m×南北(0.76)m×壁高49cm。形状 方形 床面 貼床(標高116.0m) 面積(1.66)m² 重複 H-13・W-1・D-4と重複しH-9>W-1>D-4>H-13の順に旧い。**竈** 検出してない。**壁周溝** 深さ5cm南壁の一部に検出した。**間仕切溝** 検出してない。**貯蔵穴** 検出してない。**柱穴** 検出してない。**出土遺物** 土師器壺・甕・須恵器壺・高壺 時期 10世紀後半 **備考** 10世紀後半の遺物をH-6との境付近に検出したが、H-6の壁が完全に出ていなかったものと判断し、H-6の遺物と考えた。

H-10 【参考図版1 第6・11・13・19図 第3表 図版3・6】

位置 X289・290、Y150・151 主軸方向 N-64°-E 規模 東西(4.95)m×南北(5.10)m×壁高(2.5)cm。形状 方形 床面 貼床(標高116.0m) 面積[30.2]m² 重複 H-6・H-8・H-11・H-12・W-2・W-3と重複しW-2・W-3>H-6>H-8>H-12>H-11の順に旧い。**竈** 検出してない。**壁周溝** 検出してない。**間仕切溝** 検出してない。**貯蔵穴** 検出してない。**柱穴** P1 長径66cm短径61cm深さ52cm、P2 長径47cm短径(30)cm深さ24cm、P3 長径39cm短径(30)cm深さ24cm、P4 長径50cm短径48cm深さ23cm、P5 長径51cm短径[38]cm深さ32cm、P6 長径47cm短径38cm深さ44cm、P7 長径34cm短径29cm深さ34cm、P8 長径26cm短径26cm深さ24cm、P9 長径24cm短径24cm深さ14cm、P10 長径23cm短径23cm深さ30cm、P11 長径25cm短径23cm深さ28cm、P12 長径24cm短径19cm深さ7cm、P1~12はH-11の床で検出した。**出土遺物** 土師器壺・甕・須恵器高壺 時期 6世紀前半 **備考** H-12とほぼ重なり拡張した遺構と考える。

H-11 【参考図版1 第6・11・14・15・19図 第3表 図版3・6】

位置 X288~290、Y149~151 主軸方向 N-56°-E 規模 東西7.36m×南北7.49m×壁高49cm。形状 方形 床面 地山床(標高115.7m) 面積(47.75)m² 重複 H-6・H-8・H-10・H-12・W-1・W-2・W-3と重複しW-2・W-3>H-6>W-1>H-8>H-12>H-10>H-11の順に旧い。**竈** 主軸方向 N-52°-E 規模 長さ(104)cm×幅81cm×焚口幅46cm×袖高(20)cm。**備考** 支脚に凝灰岩切石を使う。**壁周溝** 深さ8cm周溝はほぼ全周する。**間仕切溝** 14本検出した。**貯蔵穴** D1 長径81cm短径(57)cm深さ70cm、D2 長径73cm短径54cm深さ34cm、D3 長径81cm短径59cm深さ12cm、D4 長径75cm短径72cm深さ55cm。**柱穴** P1 長径40cm短径35cm深さ53cm、P2 長径32cm短径31cm深さ16cm、P3 長径6cm短径34cm深さ36cm、P4 長径35cm短径32cm深さ32cm、P5 長径54cm短径43cm深さ63cm、P6 長径34cm短径32cm深さ62cm、P7 長径32cm短径30cm深さ53cm、P8 長径46cm短径42cm深さ62cm。**出土遺物** 土師器壺・高壺・甕・甕・須恵器壺・甕 時期 5世紀後半 **備考** 元総社蒼海遺跡群(78)のH-22と同一遺構と考える。

H-12 【参考図版1 第6・10・11・12・14図 図版3】

位置 X289・290、Y150・151 主軸方向 N-63°-E 規模 東西(3.52)m×南北(2.85)m×壁高49cm。形状 方形 床面 貼床(標高115.9m) 面積[23.5]m² 重複 H-6・H-8・H-10・H-11・W-2・W-3と重複しW-2・W-3>H-6>H-8>H-12>H-10>H-11の順に旧い。**竈** 検出してない。**壁周溝** 検出してない。**間仕切溝** 検出してない。**貯蔵穴** 検出してない。**柱穴** P1 長径37cm短径32cm深さ25cm、P2 長径37cm短径36cm深さ25cm、P3 長径33cm短径30cm深さ25cm、P1~3はH-11の床で検出した。**出土遺物** 検出してない。**時期** 不明(古墳時代か)**備考** H-10とほぼ重なり拡張された遺構と考える。

H-13【参考図版1 第6・14・15・19図 第3表 図版3・6】

位置 X287・288、Y149・150 主軸方向 N-53°-E 規模 東西(1.34)m×南北(0.67)m×壁高(2.2)cm 形状 方形 床面 貼床(標高116.3m) 面積 (0.95)m² 重複 H-9・W-1・D-4と重複しH-9>W-1>D-4>H-13の順に旧い。竈 検出していない。壁周溝 検出していない。間仕切溝 検出していない。貯蔵穴 長径67cm短径62cm深さ122cm。柱穴 検出していない。出土遺物 検出していない。時期 古墳時代 備考 H-9の掘り方で貯蔵穴の主軸や出土遺物をもとに分離した。

H-14【参考図版1 第6・9図 図版3・2】

位置 X289、Y146・147 主軸方向 N-47°-E 規模 東西(2.37)m×南北(2.68)m×壁高(14)cm 形状 方形 床面 地山床(標高115.9m) 面積 (3.78)m² 重複 H-4・H-5と重複しH-5>H-4>H-14の順に旧い。竈 検出していない。壁周溝 検出していない。間仕切溝 (1)本検出した。貯蔵穴 検出していない。柱穴 P1 長径34cm短径32cm深さ(18)cm。出土遺物 検出していない。時期 古墳時代 備考 H-4の掘り方で検出した。

2 溝跡

溝跡は3条を検出した。W-1は古代の大溝、W-2・3は中世の溝である。

W-1【参考図版1・2 第6・16・20図 第4表 図版4・1】

位置 X287~290、Y148~150 主軸方向 N-88°-E 断面形状 逆台形 規模 上幅7.5m×下幅3.1m×長さ(10.13)m×深さ234cm。重複 H-3・H-5・H-6・H-9・H-11・H-13・W-3・D-4と重複しW-3>H-5・H-6>W-1>D-4>H-12>H-10>H-3>H-11の順に旧い。出土遺物 土師器壊・羽釜、須恵器壊・平瓦、丸瓦、円筒埴輪、鉄釘、縄釉陶器高台付壠、灰釉陶器高台付壠・高台付壠・耳付壠・長頸壺、羽口、鐵津 時期 古代 備考 覆土最上部にAs-B輕石純層がある。覆土中に3箇所の硬化面がある層と3箇所の焼土・炭化物が分布する層が検出された。北壁東部には埴輪建築採掘坑が検出された。

W-2【第6・16・21図 第4表 図版4・7】

位置 X287~290、Y150 主軸方向 N-87°-E 断面形状 「V」字形 規模 幅0.27m×長さ(10.08)m×深さ27cm。重複 H-6・H-8・H-10・H-11・H-12・W-3・D-3と重複しW-2・W-3>H-6・(D-3時期不明だがW-2より古い。)>H-8>H-12>H-10>H-11の順に旧い。出土遺物 須恵器壊、灰釉陶器高台付壠 時期 中世 備考 覆土はAs-B輕石を多量に混入する。

W-3【第6・16・21図 第4表 図版4・7】

位置 X288、Y149・150 主軸方向 N-1°-W 断面形状 箱堀形 規模 幅0.60m×長さ(3.28)m×深さ30cm。重複 H-6・H-8・H-10・H-11・H-12・W-1・W-2と重複しW-2・W-3>H-6>W-1>H-8>H-12>H-10>H-11の順に旧い。出土遺物 須恵器壊片 時期 中世 備考 覆土はAs-B輕石を多量に混入する。

3 土坑

【参考図版1 第6・8・10・13~16・21図 第1・4表 図版1~3・7】

土坑は5基を検出した。計測値等は、第1表にまとめた。

第1表 土坑計測表

| 土坑番号 | グリッド | 長径(cm) | 短径(cm) | 深さ(cm) | 形状 | 重複 | 出土遺物 | 時 代 | 備考 |
|------|---------------|--------|--------|--------|-----|------------|--------|-----|-----|
| D-1 | X288、Y148 | (141) | (66) | (54) | 円錐形 | H-3より新しい。 | | 不明 | |
| D-2 | X290、Y150 | (77) | (45) | (18) | 楕円形 | 単独 | | 不明 | |
| D-3 | X287・288、Y150 | (127) | (60) | (17) | 円錐形 | W-2より古い。 | | 古代か | |
| D-4 | X287、Y149・150 | (60) | (44) | (22) | 円形 | H-13より新しい。 | | 不明 | |
| D-5 | X288、Y151 | (103) | (63) | (19) | 円形 | H-8より新しい。 | キセル壁いじ | 近世か | 基盤か |



遺構調査作業状況



調査区埋め戻し作業状況

VI 総括

W-1について【参考図版1・2 第1・3・6・16・20回 第4表 図版4・7】

W-1は調査前から検出されることが想定されていた古代の大溝である。調査を進めるに際して留意したこと記して総括としたい。

開削時期は不明であるが重複するH-3・11・13が5世紀後半から6世紀後半までの遺構であり、これを切って構築していることから、少なくとも7世紀以降といえる。掘削作業は總社砂層の凝灰岩層まで掘り込んでおり、かなりの労力を要したと思われる。また、底面は水流の痕が見られず、水を通しやすい土層（凝灰岩質）を掘り込んでいることから流水や暴水の可能性は低いと思われる。

埋没時期についても不明であるが重複するH-5・6・9の時期が10世紀後半であることからその頃にはほぼ埋没していたとみられ、最上部にAs-B輕石純層があるため12世紀初頭には完全に埋没している。埋没がいつから始まったかについても遺構・遺物からは断定できないものの、覆土はロームブロックなどを含む類似した土層で、比較的短期間に埋没したようにみられた。

本地域に想定される推定上野国府跡は前橋市教育委員会による確認調査が進められ、その内で大溝の集成がなされており、それによればW-1は「区画溝A」¹⁰とされた東西方向の直線に延びる溝跡の一部を構成する遺構であり、元總社蒼海遺跡群(7)・(9)、閑泉明神北遺跡(式盤)・閑泉極遺跡で同一線上の溝跡が確認され、この内の閑泉明神北遺跡(式盤)と閑泉極遺跡の間に位置する、閑泉極遺跡の溝跡は近藤義雄・川原嘉久治氏の国府城想定案で北辺に当たる区画溝¹¹とされている。これには国府の詳細がよくわからないうままで方8町の国府城を限定することに対する意見もあるが¹²、東西方位の直線的な古代大溝跡で、規模が他国府跡の区画溝に比べて大きいことから、少なくとも何らかの官衙に関連する区画溝跡であると理解される。

前橋市教育委員会が昭和54年に表面採集調査をした結果、ほぼ方8町の方形に瓦が分布するとされ¹³本調査区付近も分布城になつてることや、武蔵国府跡区画溝例を参考にすると、窓地堀や大垣などの遮蔽施設、あるいは土橋・木橋杭跡・門跡などの施設に該当する遺構の痕跡が検出される可能性も考えていたが、W-1南側ではAs-B輕石層やAs-B輕石混入土層が確認され、その下には10世紀後半の遺構が重複していた。7世紀以降10世紀後半までの遺構は確認できなかつたが、存在しないのか、消滅したのかは不明である。W-1北側は擾乱が多かつたが10世紀後半のH-5が重複しており南側と類似する。本調査区から瓦を出土しているが、H-6覆土やW-1と遺構確認時に検出しており他所から持ち込んだものと考えられる。

W-1のAs-B輕石層下には硬化面が3箇所で検出できた。その内の1箇所は断面にローム混入土層と砂質土層を互層に数層重ね不定形な平面形状が見られた。道跡や堅穴住居跡などが考えられるが遺構の確定はできなかつた。As-B輕石層の下で10世紀後半の堅穴住居跡より上にあることから、11世紀代の用途不明な硬化面遺構として理解した。

さらにW-1を掘り下げるヒュート焼土や炭化物が平面的に分布する層があり、重複しているH-6・9の床面標高116.0mとほぼ同じ高さにあり、堅穴住居跡を構築した可能性もあるが床面や壁が検出できなかつた。遺物は釜蓋片・埴輪片・瓦片等を検出した。この層やH-6で検出した埴輪片はW-1の埋土に混入してきたという状況ではなく、H-6の床面近くやW-1に集中しているが転用目的は不明である¹⁴。

埴輪を持ち出しそうな可能性がある周辺の古墳をあげると元總社明神道跡II F M-1号墳や丁間稲荷山古墳・玉山古墳・玉河原山古墳・遠見山古墳・總社二子山古墳・德積稻荷山古墳・大小路山古墳・弥勒山古墳などがある。また、利根川対岸の前橋城北曲輪遺跡からは削平された古墳や埴輪を検出しており、未周知の古墳が近くに存在した可能性もあり、埴輪はこれら周知・未周知の古墳から持ち出したと考えられる。

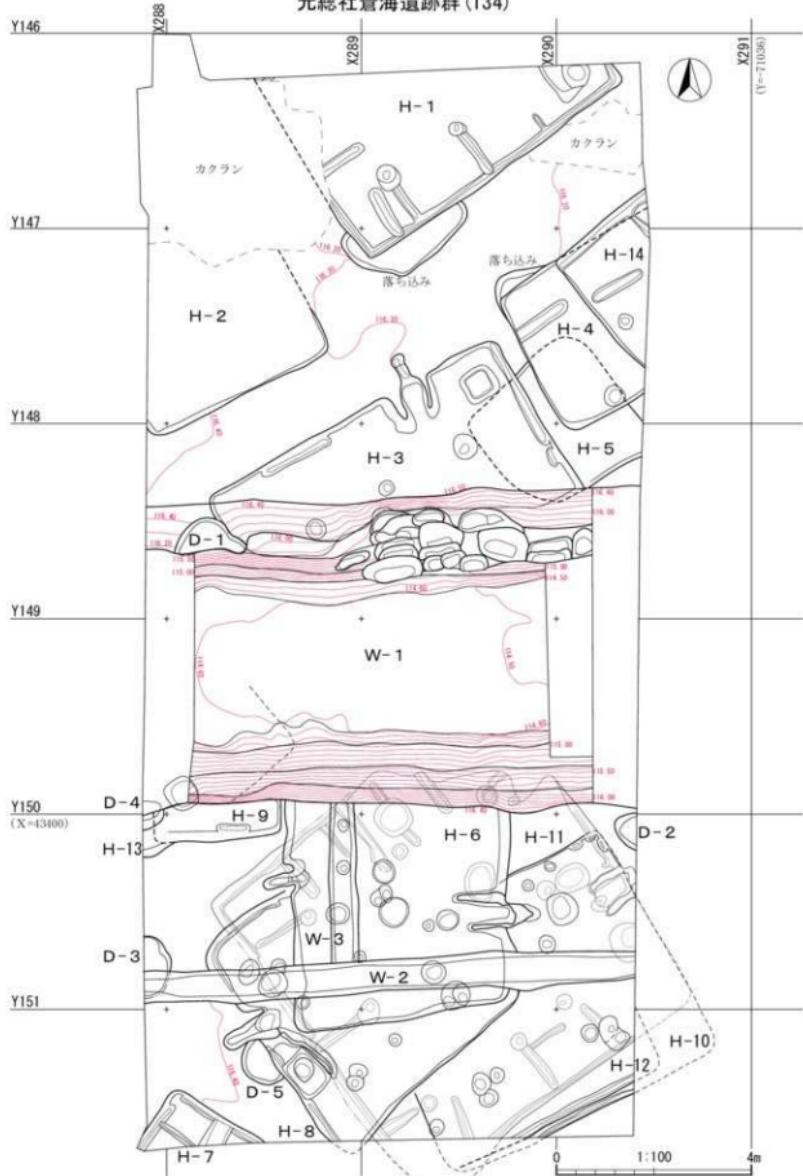
W-1北壁東部から構築材の採掘坑とみられる遺構が検出された。元總社蒼海遺跡群(7)・(9)・(36)2・4区や鳥羽遺跡L・M・O区・稻荷塚道東遺跡・大屋敷遺跡III・元總社蒼海遺跡群(7)・(9)・(36)4区と同じく溝壁を採掘しており、W-1北壁の一部を損壊しているが、掘削は浅く途中で放棄された可能性もある。

- (1) 前橋市教育委員会「まとめ」1成果について「元總社地内に検出される大溝(区画溝)について」『震定上野田村研究』平成26年度調査報告書 2016
(2) 木津理明「歴史の隠れ」『上野田村研究』震定上野田村研究会 平成27年度調査報告書 2017
(3) 『財政年報』『上野田村と其の隣境』『財政年報』歴史編文部省財務省財政事務局1988 『前に地割はあつた』上野田村『30の田町を織る 実田の歩みかづ』雄山閣1999
(4) 邦田信子「『御前野村』について」『元總社蒼海神社遷座』前橋市教育委員会 1983
(5) 伊勢崎市下諏訪町遺跡区1号作付の轄は内藤彌助を毫端精材に転用してた。 エヌガ開発株式会社『下諏訪町遺跡』2013

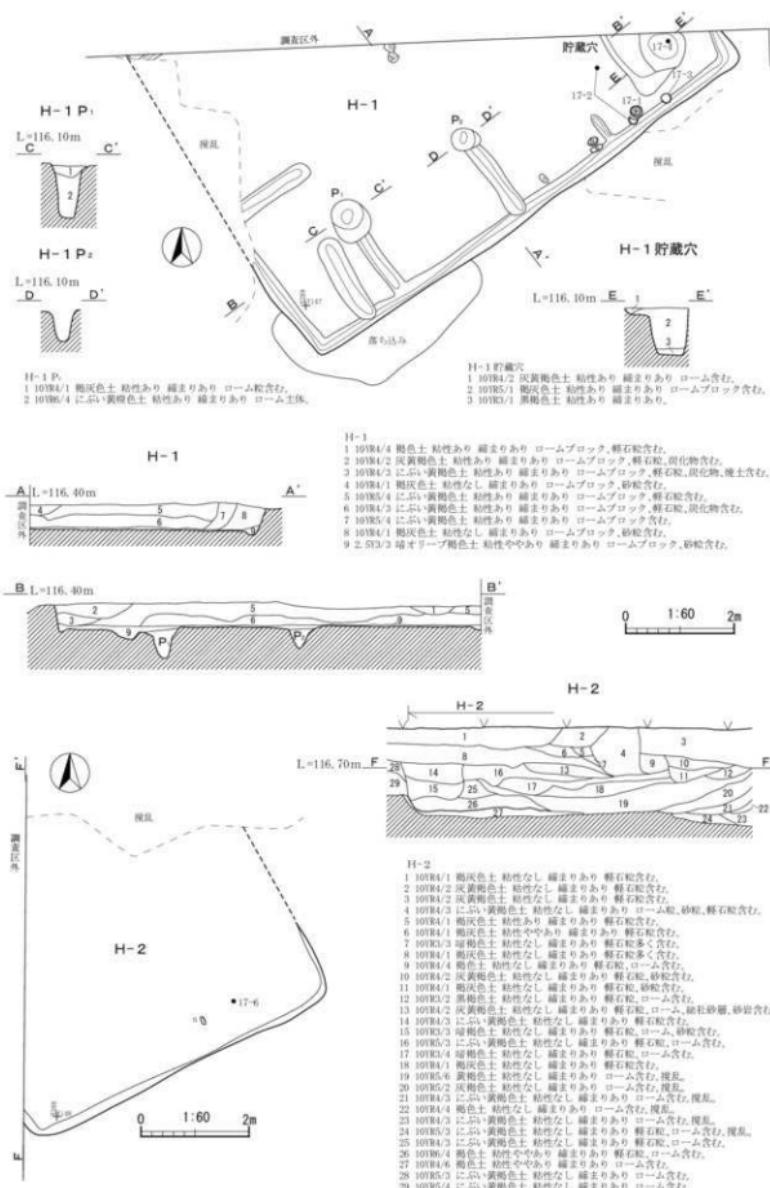
参考文献

- 前橋市教育委員会「まとめ」第2章 震定上野田村 1991
前橋市立歴史博物館『第1回』 1978
前橋市立歴史博物館『震定上野田村』前橋市立歴史博物館 2003
前橋市教育委員会「松原寺跡手掘り調査」『震定上野田村の調査報告書第7集』1993古賀新編
前橋市立歴史博物館『丁根原の歴史』2018
『財政年報』『上野田村と其の隣境』『財政年報』歴史編文部省財務省財政事務局1988 『前に地割はあつた』上野田村『30の田町を織る 実田の歩みかづ』雄山閣1999
(1) 『財政年報』『上野田村と其の隣境』『財政年報』歴史編文部省財務省財政事務局1988 『前に地割はあつた』上野田村『30の田町を織る 実田の歩みかづ』雄山閣1999
(2) 『財政年報』『上野田村と其の隣境』『財政年報』歴史編文部省財務省財政事務局1988 『前に地割はあつた』上野田村『30の田町を織る 実田の歩みかづ』雄山閣1999
(3) 『財政年報』『上野田村と其の隣境』『財政年報』歴史編文部省財務省財政事務局1988 『前に地割はあつた』上野田村『30の田町を織る 実田の歩みかづ』雄山閣1999
(4) 『財政年報』『上野田村と其の隣境』『財政年報』歴史編文部省財務省財政事務局1988 『前に地割はあつた』上野田村『30の田町を織る 実田の歩みかづ』雄山閣1999
(5) 『財政年報』『上野田村と其の隣境』『財政年報』歴史編文部省財務省財政事務局1988 『前に地割はあつた』上野田村『30の田町を織る 実田の歩みかづ』雄山閣1999
前橋市埋蔵文化財調査課『元總社蒼海遺跡群(7)』2008
前橋市埋蔵文化財調査課『元總社蒼海遺跡群(9)』2007
前橋市埋蔵文化財調査課『元總社蒼海遺跡群(36)』2011
前橋市教育委員会『元總社蒼海遺跡群(42)(62)(64)』2016
前橋市教育委員会『元總社蒼海遺跡群(74)～(80)、(92)～(94)』2017
前橋市教育委員会『震定上野田村研究』平成23年度調査報告書 2013
前橋市教育委員会『震定上野田村研究』平成25年度調査報告書 2015

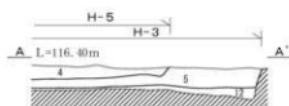
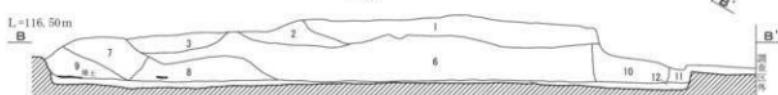
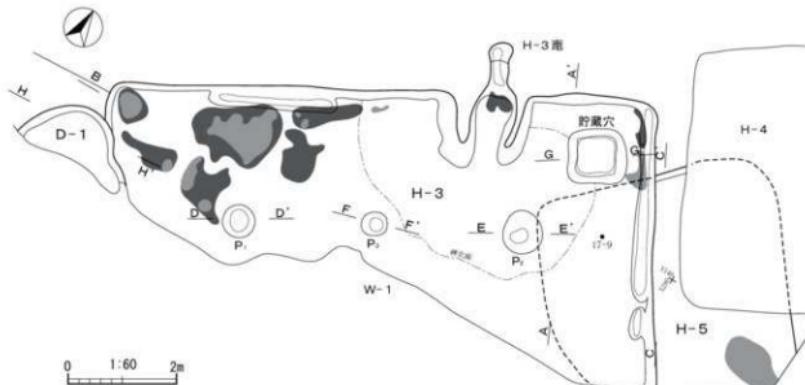
元總社蒼海遺跡群(134)



第6図 元總社蒼海遺跡群(134)全体図



第7図 H-1・2 選択図



H-3・5 (A-A'・B-B')
1 10TR5/1 黒褐色土 粘性なし 緩まりあり 錫石鉱含む。

2 10TR4/1 黄褐色土 粘性なし 緩まりあり 錫石鉱含む。

3 10TR4/2 黄褐色土 粘性あり 緩まりあり 岩塊、ローム含む。

4 10TR4/2 黑褐色土 粘性あり 緩まりあり 岩塊、ローム鉱、床含む。

5 10TR4/2 深黄褐色土 粘性あり 緩まりあり 岩塊、ロームブロック含む。

6 10TR4/2 深黄褐色土 粘性あり 緩まりあり 岩塊、ロームブロック含む。

7 10TR4/2 黑褐色土 粘性あり 緩まりあり 岩塊、ローム含む。

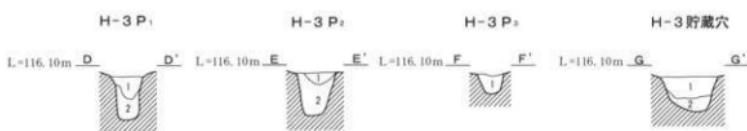
8 10TR4/2 黑褐色土 粘性あり 緩まりあり 鉄化物含む。

9 10TR5/2 黑褐色土 粘性あり 緩まりあり 鉄化物、ローム含む。

10 10TR5/2 黑褐色土 粘性あり 緩まりあり 錫石鉱、ローム含む。

11 10TR5/3 に深い黄褐色土 粘性あり 緩まりあり ロームブロック含む。

12 7, 8TR3/2 黑褐色土 粘性なし 緩まりあり ロームブロック含む。



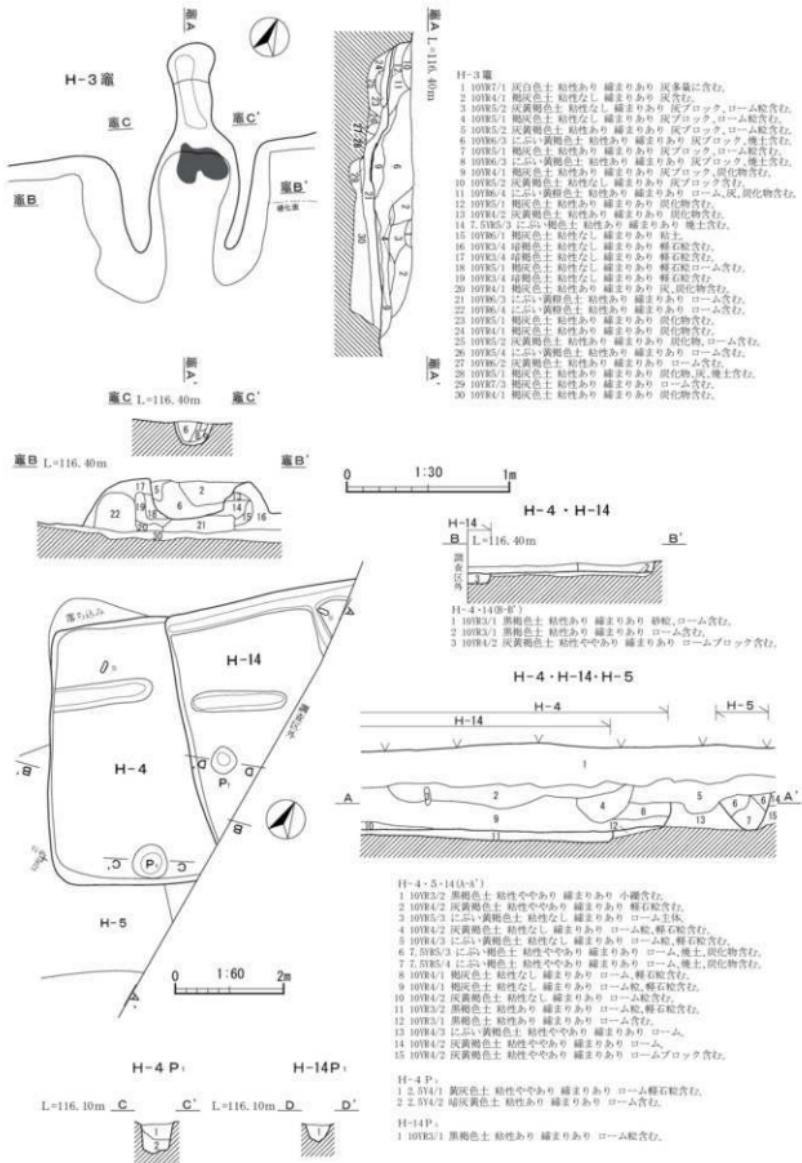
H-3 P1
L=116.10m D-D'
1 10TR4/3 に深い黄褐色土 粘性あり 緩まりあり ロームブロック多く含む。
2 10TR7/4 に深い黄褐色土 粘性なし 緩まりあり ローム主体。

H-3 P2
L=116.10m E-E'
1 10TR6/3 に深い黄褐色土 粘性なし 緩まりあり ローム含む。

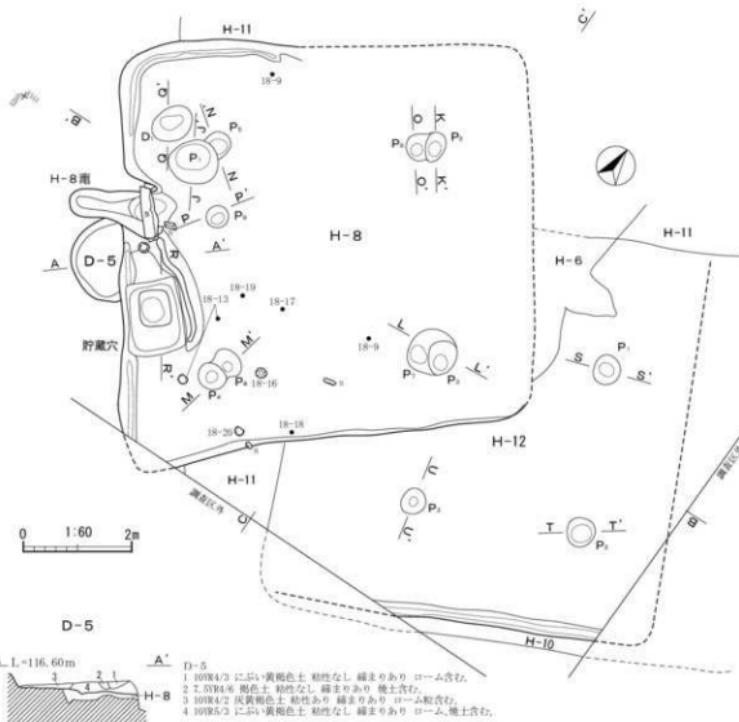
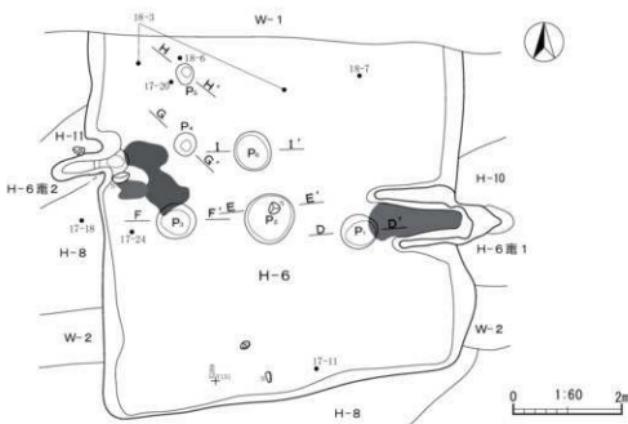
H-3 P3
L=116.10m F-F'
1 10TR6/3 に深い黄褐色土 粘性あり 緩まりあり ロームブロック多く含む。
2 10TR6/2 深黄褐色土 粘性なし 緩まりあり ローム主体。

H-3貯藏穴
L=116.50m H-H'
1 10TR4/2 深黄褐色土 粘性あり 緩まりあり 錫石鉱、ロームブロック含む。

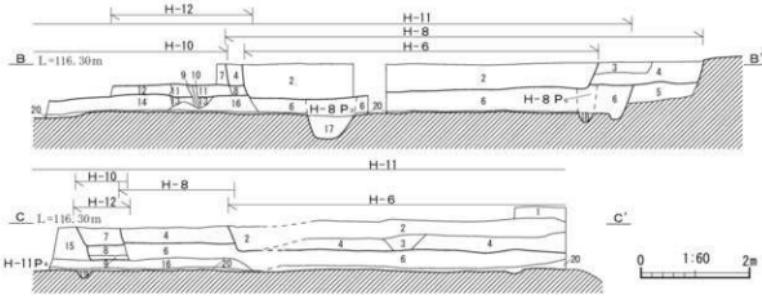
第8図 H-3(1)・5、D-1遺構図



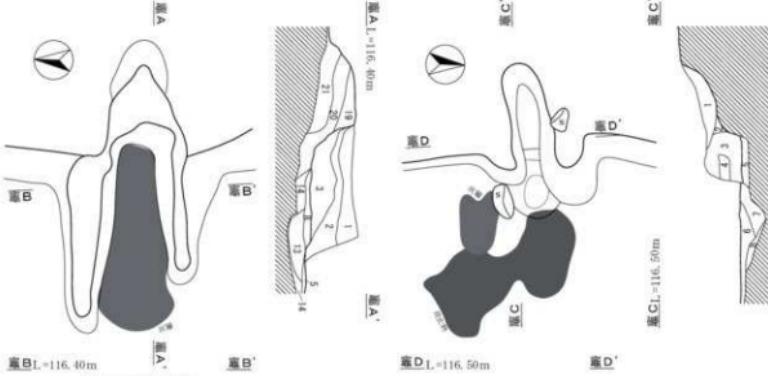
第9図 H-3(2)・4・5・14遺構図



第10図 H-6 (1)・8 (1)・12 (1)、D-5 遺構図

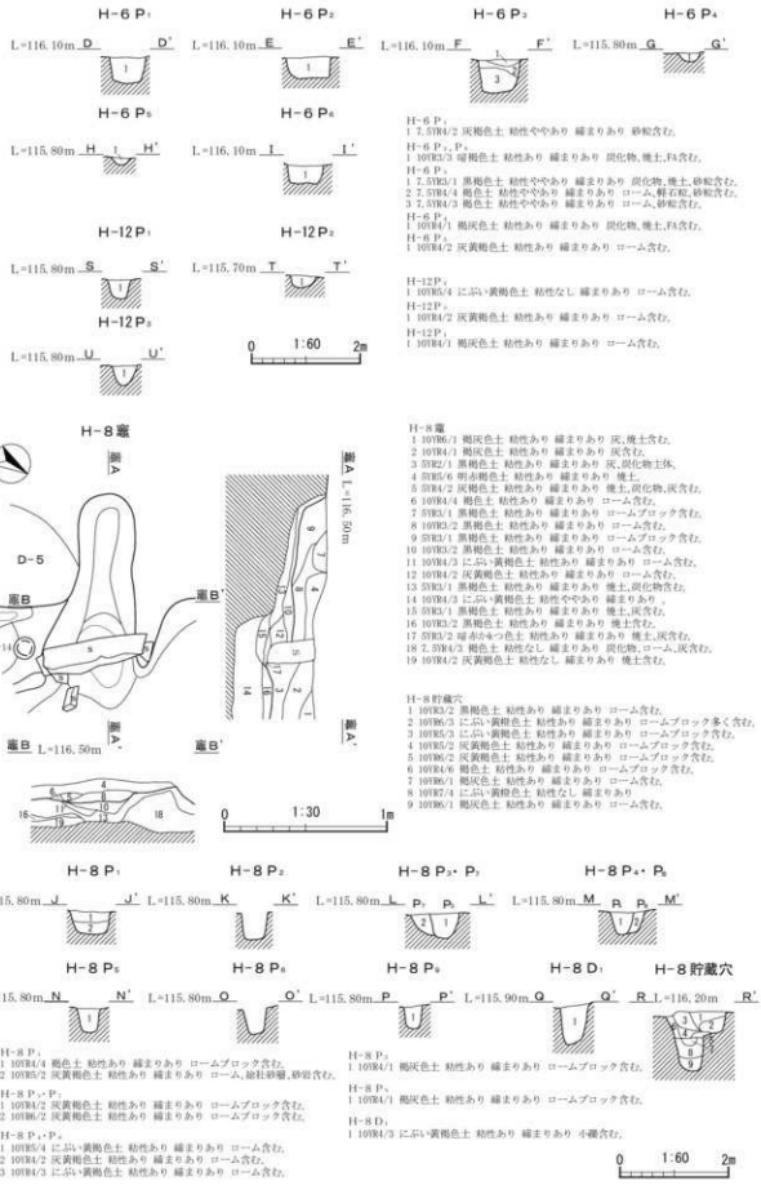


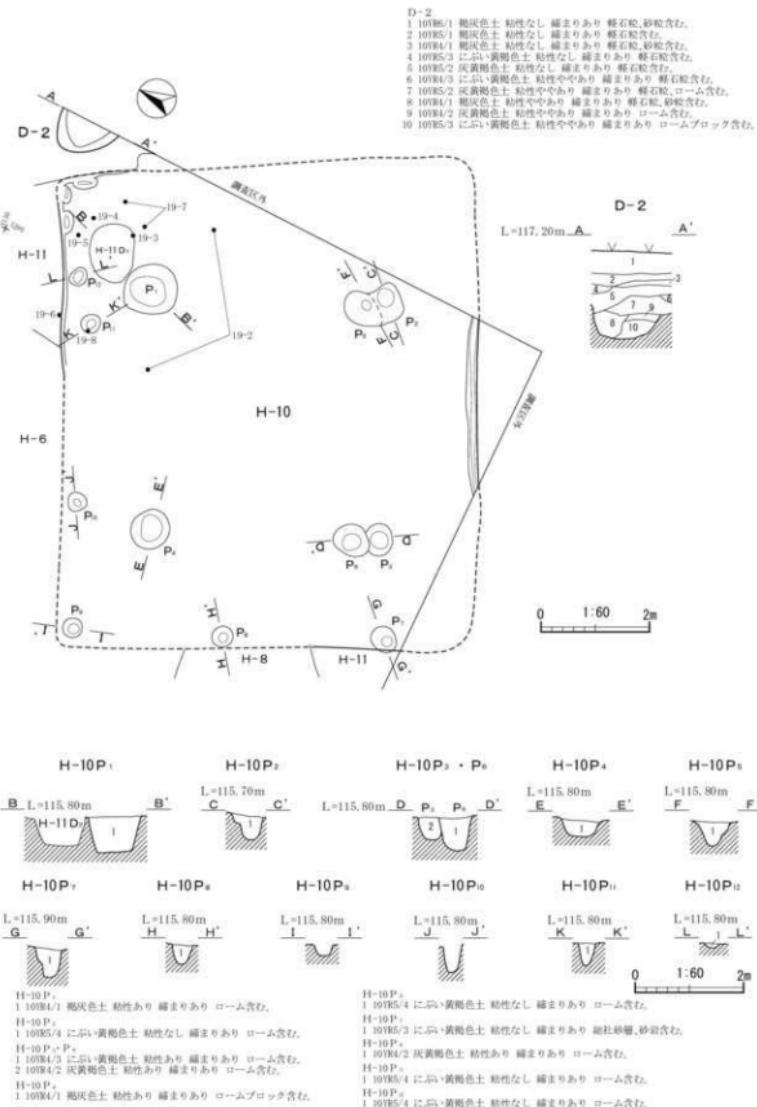
- H-8(B-B', C-C'): H-6 + 10 + 11 + 12のセクションを含む。>
- 1 5YR5/1 黒褐色土 粘性なし 繼まりあり 軽石粒、ローム含む。
 - 2 10YR5/2 黒褐色土 粘性ややあり 繼まりあり 軽石粒、ローム含む。
 - 3 10YR5/1 視赤色土 粘性あり 繼まりあり。
 - 4 10YR5/2 黒褐色土 粘性ややあり 繼まりあり。
 - 5 10YR4/4 黃褐色土 粘性ややあり 繼まりあり ローム含む。
 - 6 10YR5/1 視赤色土 粘性なし 繼まりあり 軽石粒含む。
 - 7 10YR5/1 黒褐色土 粘性なし 繼まりあり ロームブロック含む。
 - 8 10YR5/2 黄褐色土 粘性なし 繼まりあり ロームブロック、砂岩含む。
 - 9 10YR3/3 褐褐色土 粘性なし 繼まりあり。
 - 10 10YR4/2 黄褐色土 粘性なし 繼まりあり 軽石粒、ローム含む。
 - 11 10YR6/2 黄褐色土 粘性なし 繼まりあり ロームブロック含む。
 - 12 10YR5/3 にふり黄褐色土 粘性あり 繼まりあり ロームを多く含む。
 - 13 10YR5/1 褐褐色土 粘性なし 繼まりあり ロームを多く含む。
 - 14 10YR6/2 黄褐色土 粘性なし 繼まりあり ローム、細粒砂層、砂岩多く含む。
 - 15 10YR6/3 黄褐色土 粘性なし 繼まりあり ローム、砂岩多く含む。
 - 16 10YR6/3 にふり褐色土 粘性あり 繼まりあり ローム含む。
 - 17 10YR6/2 黄褐色土 粘性あり 繼まりあり ロームブロック含む。
 - 18 10YR6/1 褐褐色土 粘性あり 繼まりあり ロームブロック含む。
 - 19 10YR6/3 にふり黄褐色土 粘性なし 繼まりあり 細粒砂層、砂岩含む。
 - 20 10YR6/3 にふり黄褐色土 粘性ややあり 繼まりあり ローム、粘岩含む。



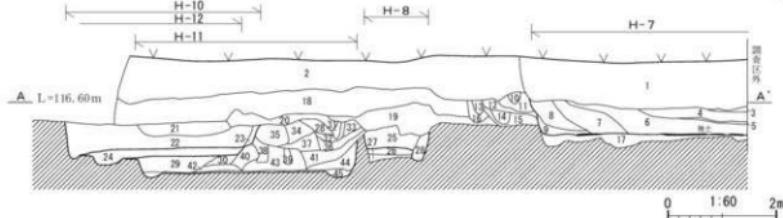
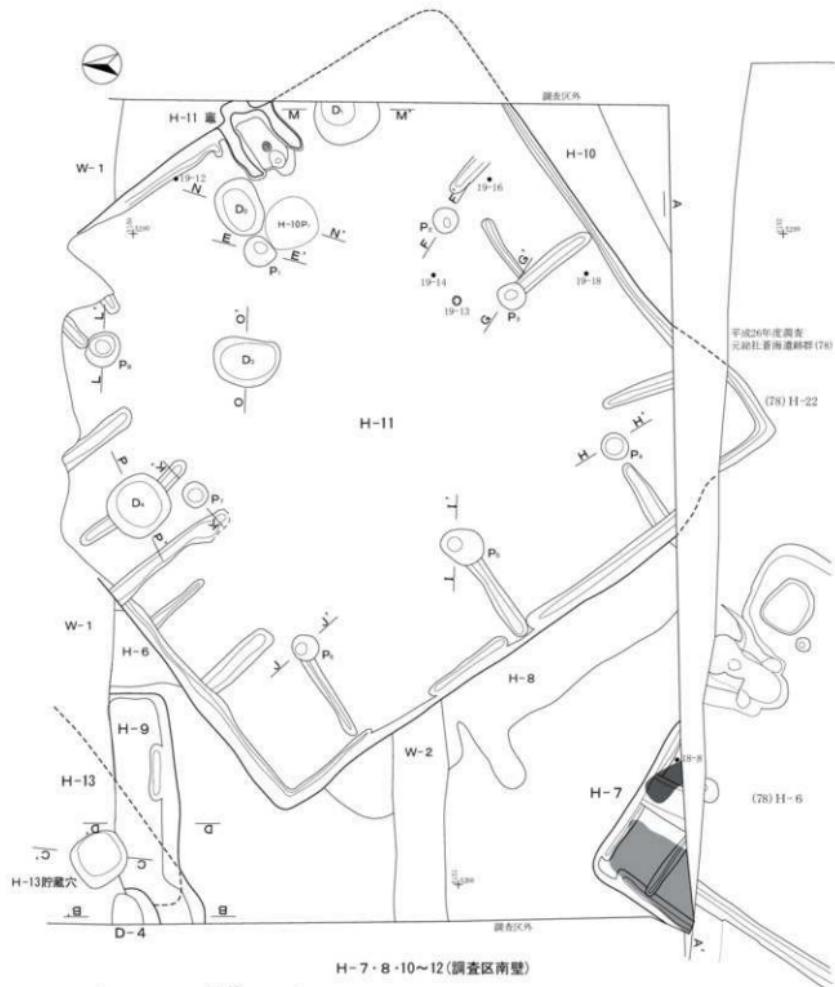
- H-6 地図
- 1 5YR4/2 黑褐色土 粘性なし 繼まりあり 軽石粒、鐵土、ローム含む。
 - 2 10YR5/2 黑褐色土 粘性ややあり 繼まりあり 軽石粒、鐵土、ローム含む。
 - 3 10YR5/1 黑褐色土 粘性ややあり 繼まりあり 軽石粒、鐵土、ローム含む。
 - 4 10YR4/4 にふり 黃褐色土 粘性なし 繼まりあり 砂岩含む。
 - 5 2 5YR6/1 黑褐色土 粘性ややあり 繼まりあり 鐵土、鐵岩含む。
 - 6 5YR4/1 黑褐色土 粘性なし 繼まりあり。
 - 7 5YR4/2 黑褐色土 粘性なし 繼まりあり 軽石粒含む。
 - 8 7, 10YR6/3 植生褐色土 粘性ややあり 繼まりあり 健土、鐵化物、鐵岩含む。
 - 9 2, 5YR6/8 褐褐色土 粘性なし 繼まりあり 鐵土。
 - 10 10YR4/1 黑褐色土 粘性ややあり 繼まりあり 砂岩含む。
 - 11 10YR6/1 黑褐色土 粘性なし 繼まりあり 砂岩含む。
 - 12 5YR6/2 褐褐色土 粘性なし 繼まりあり 鐵土。
 - 13 7, 10YR2/3 植生褐色土 粘性ややあり 繼まりあり 健土、鐵化物、鐵岩含む。
 - 14 5YR4/2 黄褐色土 粘性なし 繼まりあり 軽石粒、鐵土、鐵化物含む。
 - 15 10YR4/2 黄褐色土 粘性ややあり 繼まりあり 砂岩含む。
 - 16 7, 10YR6/1 黑褐色土 粘性ややあり 繼まりあり 健土、鐵化物含む。
 - 17 10YR6/1 黑褐色土 粘性ややあり 繼まりあり 健土、鐵化物含む。
 - 18 10YR6/1 黑褐色土 粘性なし 繼まりあり 鐵土。
 - 19 2, 5YR6/2 黑褐色土 粘性なし 繼まりあり 鐵土。
 - 20 5YR4/2 黄褐色土 粘性なし 繼まりあり 軽石粒含む。
 - 21 7, 5YR3/4 褐褐色土 粘性ややあり 繼まりあり。
- H-6 地図
- 1 10YR6/3 にふり 黃褐色土 粘性あり 繼まりあり ローム多く含む。
 - 2 10YR6/2 黑褐色土 粘性あり 繼まりあり ローム、鐵土含む。
 - 3 2, 5YR7/2 黄褐色土 粘性ややあり 繼まりあり ローム含む。
 - 4 2, 5YR7/3 黄褐色土 粘性なし 繼まりあり 細粒砂層、ブロック。
 - 5 10YR6/3 にふり 黃褐色土 粘性なし 繼まりあり ローム含む。
 - 6 10YR6/2 黄褐色土 粘性あり 繼まりあり 鐵化物、鐵岩含む。
 - 7 10YR5/2 黄褐色土 粘性あり 繼まりあり 1cm 砂岩含む。
 - 8 7, 10YR6/2 黑褐色土 粘性あり 繼まりあり 鐵化物、鐵土含む。
 - 9 10YR6/3 にふり 黃褐色土 粘性なし 繼まりあり ローム含む。
 - 10 10YR6/2 黄褐色土 粘性なし 繼まりあり 鐵化物含む。
 - 11 10YR6/3 にふり 黄褐色土 粘性ややあり 繼まりあり ローム含む。

第11図 H-6 (2)・8 (2)・10(1)・11(1)・12(2) 遺構図



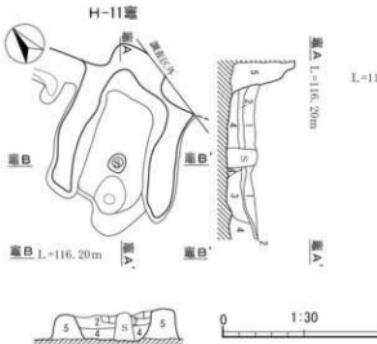


第13図 H-10(2)、D-2 遺構図

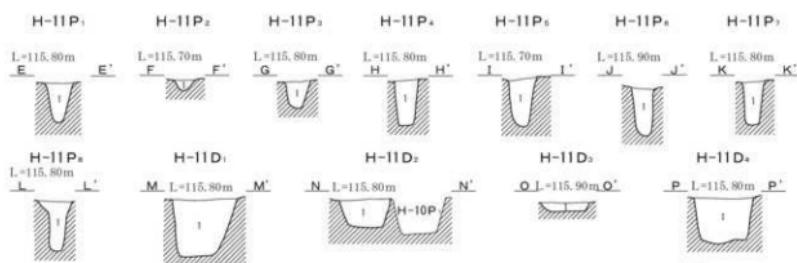


第14図 H-7・9(1)・11(2)・12(4)・13(1)、D-4(1) 遺構図

- H-7・8・10・11・12(調査区南壁)
- 1 黄褐色土 粘性あり 硬さあり 壊土
 - 2 黄褐色土 粘性あり 硬さあり 壊土、砂岩含む。
 - 3 H-10B6/6 明黄色土 粘性あり 硬さあり 壊土、ローム含む。
 - 4 H-10B6/6 にじみ黄褐色土 粘性あり 硬さあり 壊土。
 - 5 H-10B6/6 明黄色土 粘性あり 硬さあり 壊土、ローム土体。
 - 6 H-10B6/2 黄褐色土 粘性あり 硬さあり 壊土、砂岩含む。
 - 7 H-10B6/2 黄褐色土 粘性ややあり 壊土、砂岩含む。
 - 8 7.5mH-2 黄褐色土 粘性ややあり 壊土、砂岩含む。
 - 9 7.5mH-1 黄褐色土 粘性ややあり 壊土、砂岩含む。
 - 10 10B6/2 黄褐色土 粘性あり 硬さあり 壊土、砂岩含む。
 - 11 10B6/2 黄褐色土 粘性ややあり 壊土、砂岩含む。
 - 12 10B6/2 黄褐色土 粘性ややあり 壊土、砂岩含む。
 - 13 7.5mH-5 にじみ黄褐色土 粘性あり 壊土、砂岩含む。
 - 14 5mH-5/4 にじみ黄褐色土 粘性あり 壊土、砂岩含む。
 - 15 10B6/3 西黃褐色土 粘性あり 硬さあり 壊土、ローム含む。
 - 20 10B6/3 西黃褐色土 粘性あり 硬さあり 壊土、砂岩含む。
 - 17 10B6/3 にじみ黄褐色土 粘性あり 硬さあり 壊土、砂岩含む。
 - 18 10B6/3 にじみ黄褐色土 粘性あり 硬さあり 壊土、砂岩含む。
 - 19 10B6/2 黄褐色土 粘性あり 硬さあり 壊土、砂岩含む。
 - 20 10B6/2 黄褐色土 粘性なし 硬さあり F A 砂岩含む。
 - 21 10B6/2 黄褐色土 粘性なし 硬さあり 壊土、砂岩含む。



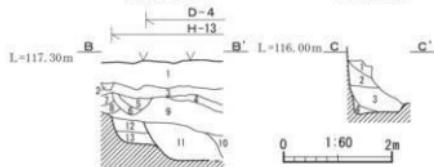
- H-11壁 (A'-E'-中折)
- 1 5mH-4 にじみ黄褐色土 粘性ややあり 硬さあり 壊土、砂岩含む。
 - 2 10B6/3 にじみ黄褐色土 粘性なし 硬さあり 壊土、砂岩含む。
 - 3 2.5mH-1 黄褐色土 粘性なし 硬さあり 壊土、砂岩含む。
 - 4 5mH-1 黄褐色土 粘性あり 硬さあり 壊土、砂岩含む。
 - 5 2.5mH-1 黄褐色土 粘性ややあり 硬さあり 壊土、砂岩含む。



- H-11P1
L=115.80m E-E' L=115.70m F-F' L=115.80m G-G' L=115.80m H-H' L=115.70m I-I' L=115.90m J-J' L=115.80m K-K'
- H-11P2
L=115.80m L-L' L=115.80m M-M' L=115.80m N-N' L=115.90m O-O' L=115.80m P-P'
- H-11P3
L=115.80m L-L' L=115.80m M-M' L=115.80m N-N' L=115.90m O-O' L=115.80m P-P'
- H-11P4
L=115.80m L-L' L=115.80m M-M' L=115.80m N-N' L=115.90m O-O' L=115.80m P-P'
- H-11P5
L=115.80m L-L' L=115.80m M-M' L=115.80m N-N' L=115.90m O-O' L=115.80m P-P'
- H-11P6
L=115.80m L-L' L=115.80m M-M' L=115.80m N-N' L=115.90m O-O' L=115.80m P-P'
- H-11P7
L=115.80m L-L' L=115.80m M-M' L=115.80m N-N' L=115.90m O-O' L=115.80m P-P'
- H-11P8
L=115.80m L-L' L=115.80m M-M' L=115.80m N-N' L=115.90m O-O' L=115.80m P-P'
- H-11D1
L=115.80m L-L' L=115.80m M-M' L=115.80m N-N' L=115.90m O-O' L=115.80m P-P'
- H-11D2
L=115.80m L-L' L=115.80m M-M' L=115.80m N-N' L=115.90m O-O' L=115.80m P-P'
- H-11D3
L=115.80m L-L' L=115.80m M-M' L=115.80m N-N' L=115.90m O-O' L=115.80m P-P'
- H-11D4
L=115.80m L-L' L=115.80m M-M' L=115.80m N-N' L=115.90m O-O' L=115.80m P-P'

- 23 10B6/2 西黄褐色土 粘性なし 硬さあり F A 土体。
- 24 10B6/2 黄褐色土 粘性あり 硬さあり ローム含む。
- 25 10B6/2 二云・黄褐色土 粘性あり 硬さあり ローム含む。
- 26 10B6/2 西黄褐色土 粘性あり 硬さあり ローム含む。
- 27 10B6/4 にじみ黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 28 10B6/6 明黄色土 粘性なし 硬さあり ローム、地山。
- 29 10B6/6 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム、砂岩含む。
- 30 10B6/6 黄褐色土 粘性なし 硬さあり F A 土体。
- 31 10B6/7 二云・黄褐色土 粘性なし 硬さあり F A 土体。
- 32 10B6/6 西黄褐色土 粘性なし 硬さあり F A 土体。
- 33 10B6/7 西黄褐色土 粘性なし 硬さあり F A 土体。
- 34 10B6/7 黄褐色土 粘性なし 硬さあり F A 土体。
- 35 10B6/7 黄褐色土 粘性なし 硬さあり F A 土体。
- 36 10B6/7 黄褐色土 粘性なし 硬さあり F A 土体。
- 37 10B6/5 にじみ黄褐色土 粘性なし 硬さあり F A 土体。
- 38 10B6/2 にじみ黄褐色土 粘性なし 硬さあり F A 土体。
- 39 10B6/5 黄褐色土 粘性なし 硬さあり F A 土体。
- 40 10B6/5 黄褐色土 粘性なし 硬さあり F A 土体。
- 41 10B6/3 にじみ黄褐色土 粘性なし 硬さあり F A 土体。
- 42 10B6/6 にじみ黄褐色土 粘性なし 硬さあり F A 土体。
- 43 10B6/1 黄褐色土 粘性あり 硬さあり ローム・グリット・F A 土体。
- 44 10B6/2 西黄褐色土 粘性なし 硬さあり F A 土体。
- 45 10B6/6 西黄褐色土 粘性なし 硬さあり F A 土体。

H-13-D-4



- H-13,D-4
- 1 黄褐色土 粘性なし 硬さあり 砂岩含む。
 - 2 黄褐色土 粘性なし 硬さあり 砂岩含む。
 - 3 10B6/5 1 黄褐色土 粘性なし 硬さあり 砂岩含む。
 - 4 10B6/6 黄褐色土 粘性なし 硬さあり 砂岩多々 含む。
 - 5 10B6/4 黄褐色土 粘性あり 硬さあり ローム含む。
 - 6 10B6/5 黄褐色土 粘性あり 硬さあり ローム含む。
 - 7 10B6/4 二云・黄褐色土 粘性あり 硬さあり 砂岩含む。
 - 8 10B6/4 2 黄褐色土 粘性あり 硬さあり ローム含む。
 - 9 10B6/5 黄褐色土 粘性あり 硬さあり ローム含む。
 - 10 10B6/5 黄褐色土 粘性あり 硬さあり 砂岩含む。
 - 11 10B6/1 黄褐色土 粘性あり 硬さあり 砂岩含む。
 - 12 2.5mH-4 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム・砂岩含む。
 - 13 2.5mH-2 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。

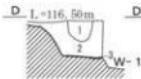
H-13D-4

- 1 10B6/3 西黄褐色土 粘性あり 硬さあり ローム含む。

- 2 10B6/4 黄褐色土 粘性あり 硬さあり ローム・砂岩・砂岩含む。

- 3 10B6/3 黑褐色土 粘性あり 硬さあり ローム含む。

H-9



H-9

- 1 10B6/4 2 黄褐色土 粘性あり 硬さあり ローム含む。

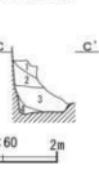
- 2 10B6/5 3 にじみ黄褐色土 粘性あり 硬さあり 砂岩含む。

- 3 10B6/3 1 黑褐色土 粘性あり 硬さあり ローム含む。

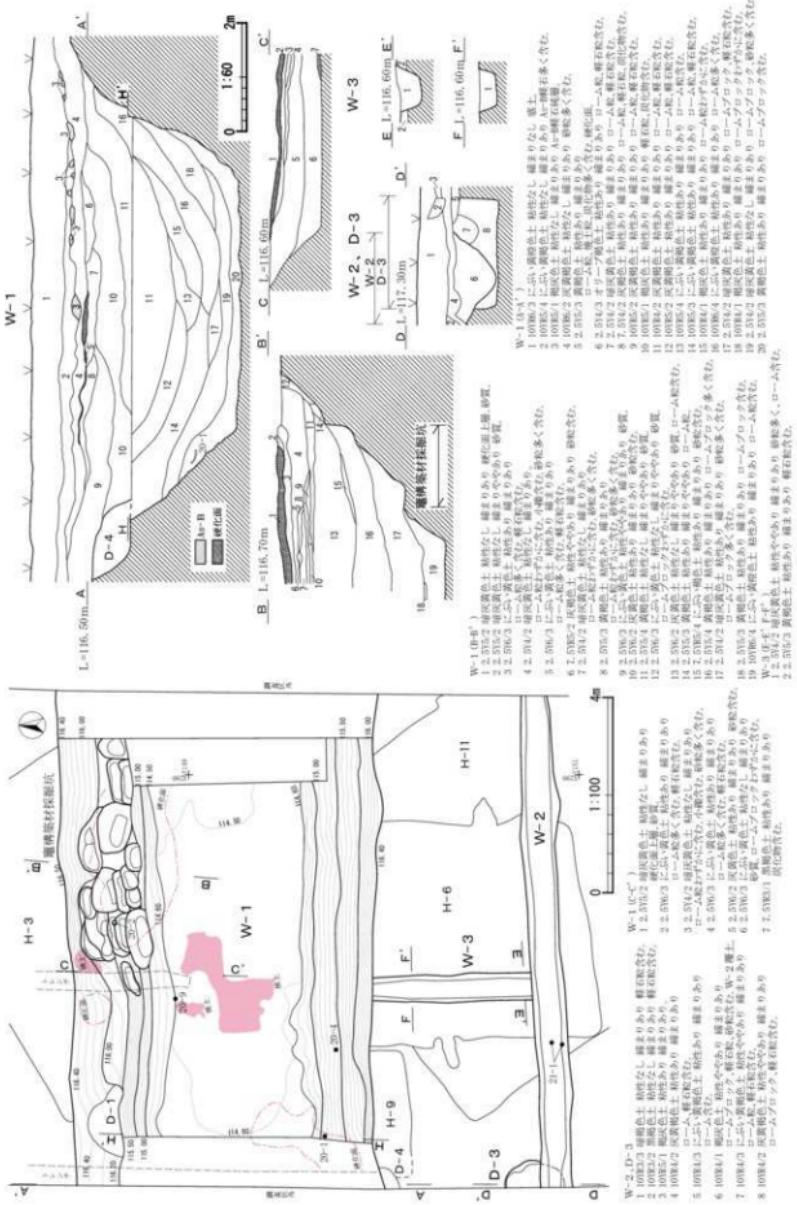
H-11P1

- 1 10B6/3 1 暗褐色土 粘性なし 硬さあり 砂岩含む。
- 2 10B6/4 1 黄褐色土 粘性なし 硬さあり 砂岩含む。
- 3 10B6/3 黑褐色土 粘性なし 硬さあり 砂岩含む。
- 4 10B6/4 1 黄褐色土 粘性なし 硬さあり 砂岩含む。
- 5 10B6/3 黄褐色土 粘性なし 硬さあり 砂岩含む。
- 6 10B6/4 1 黄褐色土 粘性なし 硬さあり 砂岩含む。
- 7 10B6/3 黄褐色土 粘性なし 硬さあり 砂岩含む。
- 8 10B6/4 1 黄褐色土 粘性なし 硬さあり 砂岩含む。
- 9 10B6/3 黄褐色土 粘性なし 硬さあり 砂岩含む。
- 10 10B6/4 1 黄褐色土 粘性なし 硬さあり 砂岩含む。
- 11 10B6/3 黄褐色土 粘性なし 硬さあり 砂岩含む。
- 12 10B6/4 1 黄褐色土 粘性なし 硬さあり 砂岩含む。
- 13 10B6/3 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 14 10B6/4 1 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 15 10B6/3 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 16 10B6/4 1 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 17 10B6/3 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 18 10B6/4 1 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 19 10B6/3 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 20 10B6/4 1 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 21 10B6/3 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 22 10B6/4 1 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 23 10B6/3 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 24 10B6/4 1 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 25 10B6/3 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 26 10B6/4 1 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 27 10B6/3 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 28 10B6/4 1 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 29 10B6/3 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 30 10B6/4 1 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 31 10B6/3 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 32 10B6/4 1 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 33 10B6/3 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 34 10B6/4 1 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 35 10B6/3 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 36 10B6/4 1 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 37 10B6/3 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 38 10B6/4 1 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 39 10B6/3 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 40 10B6/4 1 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 41 10B6/3 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 42 10B6/4 1 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 43 10B6/3 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 44 10B6/4 1 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。
- 45 10B6/3 黄褐色土 粘性なし 硬さあり ローム含む。

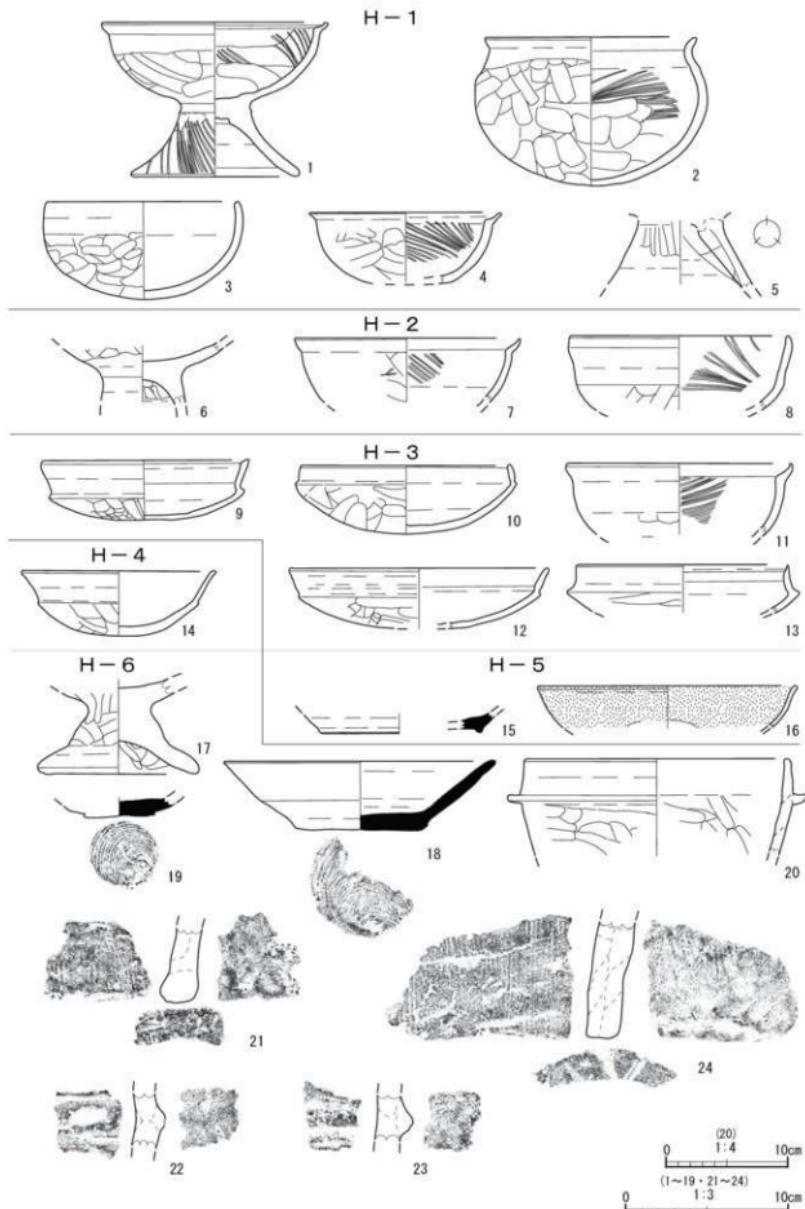
H-13貯穴



第15図 H-9(2)・11(3)・13(2)・D-4(2) 遺構図

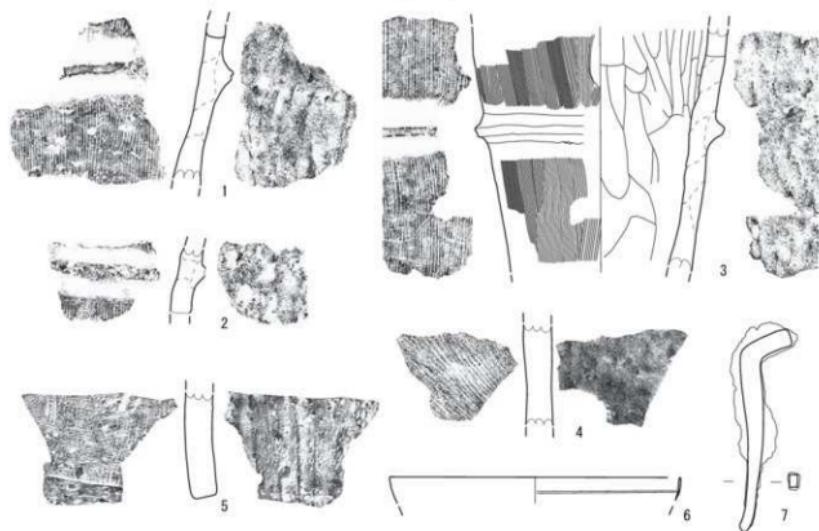


第16図 W-1・2・3、D-3 遺構図

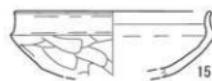
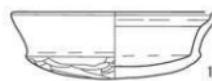
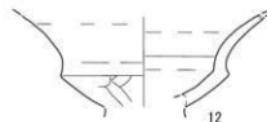
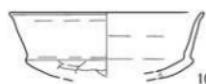
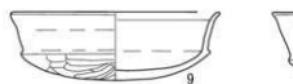


第17図 H-1・2・3・4・5・6(1) 遺物図

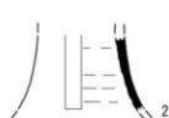
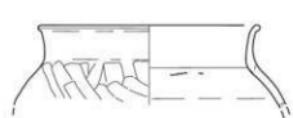
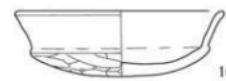
H - 6



H - 8



H - 7



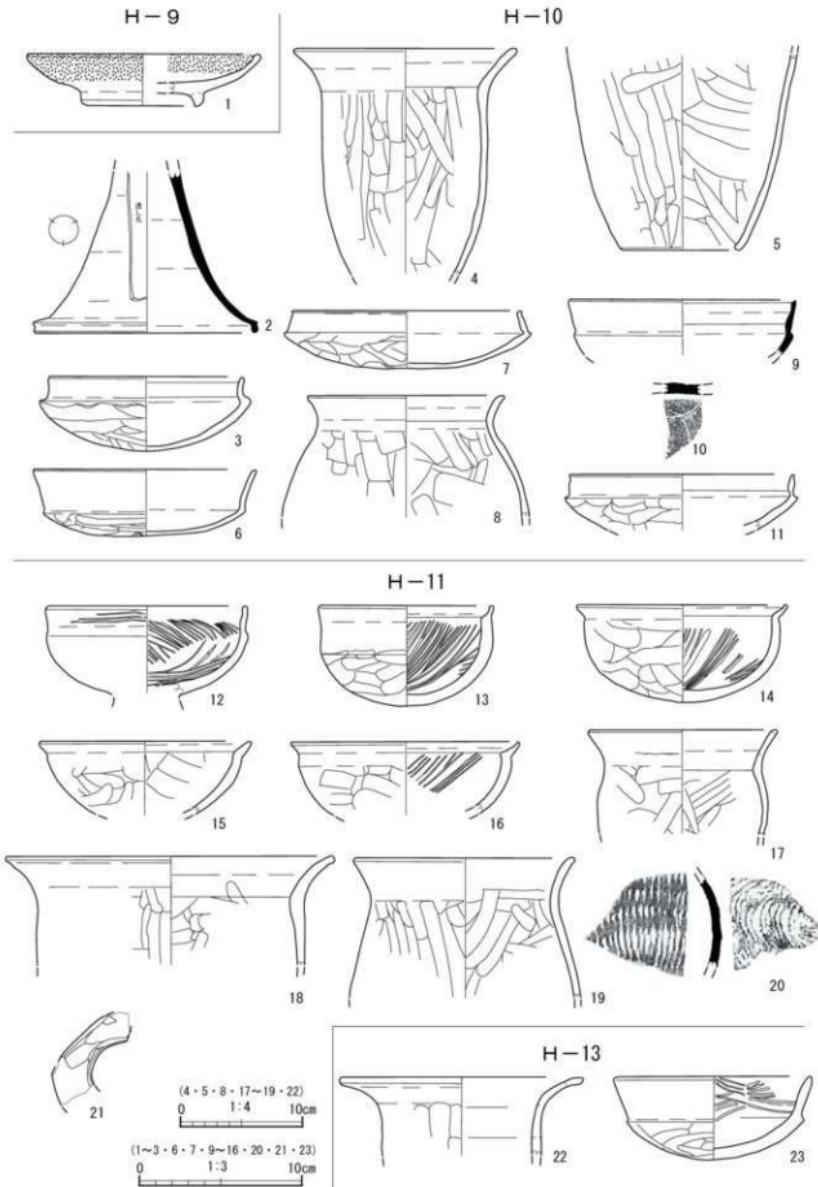
(7) 0 1:2 5cm

(19) 0 1:4 10cm

0 (1~3・6・8~18・20~21) 1:3 10cm

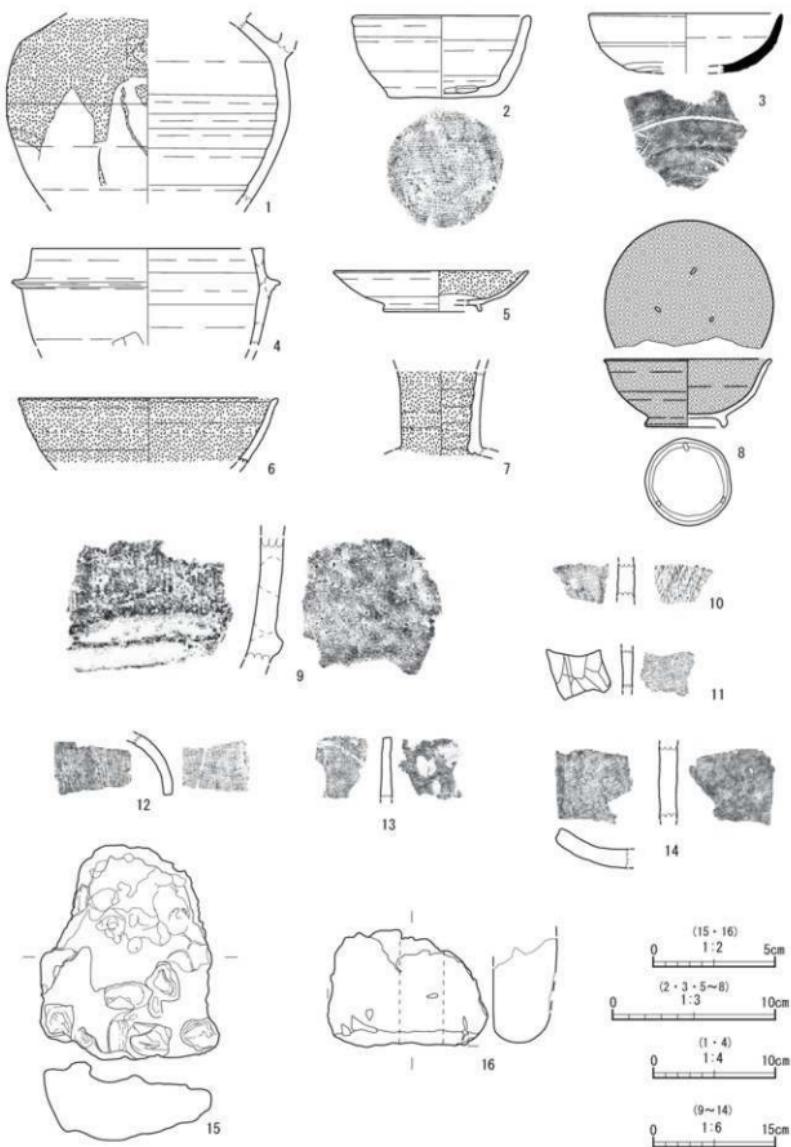
0 (4・5) 1:6 15cm

第18図 H - 6 (2) • 7 • 8 遺物図

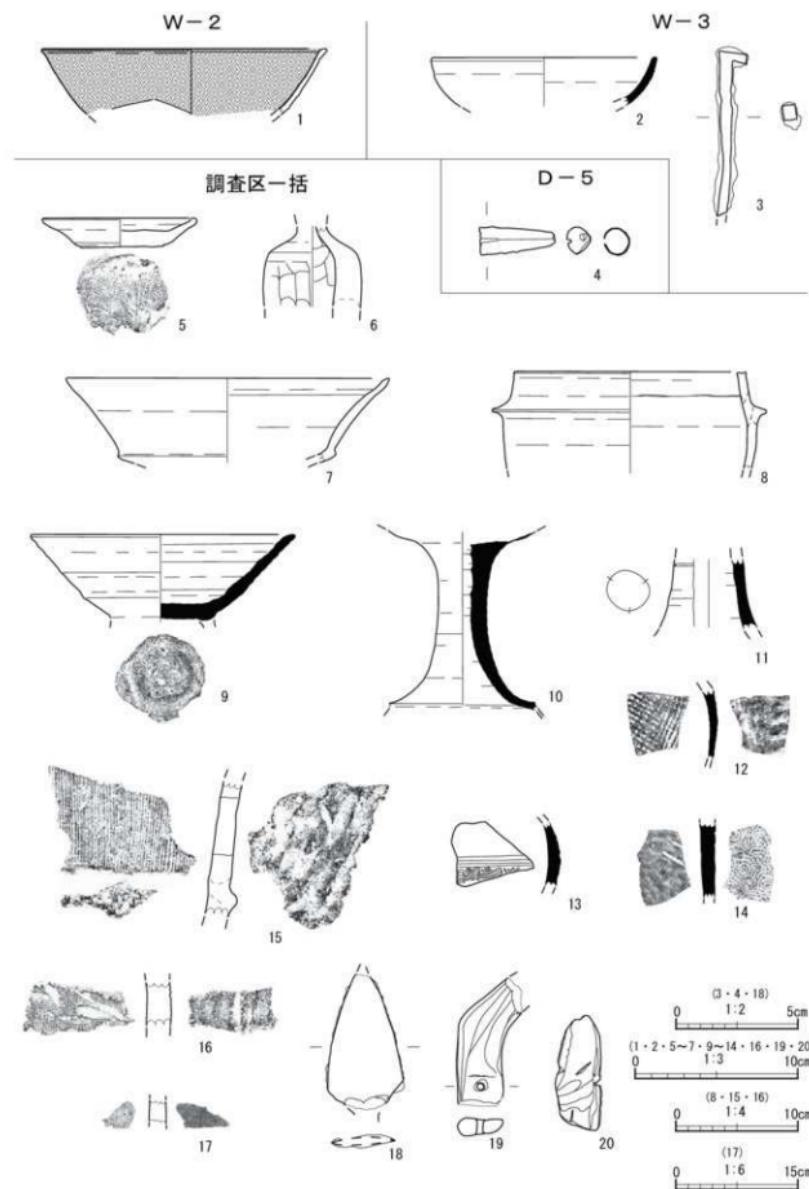


第19図 H - 9 · 10 · 11 · 13遺物図

W - 1



第20図 W - 1 遺物図



第21図 W - 2 + 3、D - 5、調査区一括遺物図

第2表 H-1・2・3・4・5・6遺物観察表

| 遺物番号 図版番号 | 出土位置 | 台帳 番号 | 器種 | 法量 | ①素土色成 ②顔面主色 | 器形の特徴、整形方法 | 備考 |
|-------------------|------------|-------------------|--------------------------|--|---------------------------------------|---|----|
| 第175-1 図版5-1 | H-1 | 2 | 土師器 高环 | ①14.0 ②10.4 ⑨.5 捜合部径4.5 | ①石英、砂粒、褐色を含む ②良好 ③SYR6/6模 ④H1定形 | 内面は口縁部ナダ、体部ケズリ、脚部ナダ後ハミガキ、脚部ナダ、外面は口縁部ケズリ、体部ケズリ、脚部ナダ後ハミガキ、内斜口縫。 | |
| 第175-2 図版5-2 | H-1 | 3,5 | 土師器 环 | ①13.6 ②14.3 ⑨.1 ⑤内斜径12.5 | ①砂粒、褐色を含む ②良好 ③SYR6/6模 ④H1 | 内面は口縁部ナダ、体部上方ハミガキ、下方ナダ、外面は口縁部ナダ、体部ケズリ、脚部ナダ後ハミガキ、内斜口縫。 | |
| 第175-3 図版5-3 | H-1 | 1 | 土師器 环 | ①11.8 ②12.3 ③6.0 ④(4.3) | ①石英、褐色地、小範を含む ②普通 ③SYR6/6模 ④H1 | 内面は口縁部ナダ、体部上方ハミガキ、外曲あり、外斜面に凹部、近外部に凸部あり。 | |
| 第175-4 図版5-4 | H-1 | 4 | 土師器 环 | ①11.8 ②10.8 ④(4.3) | ①石英、褐色地、砂粒、閃開石 ②普通 ③SYR6/6模 ④H1/5 | 内面は口縁部ナダ、体部ケズリ、内斜口縫。 | |
| 第175-5 図版5-5 | H-1 | 一括 | 土師器 器台か ら | ①(0.6) ②(4.6) ③SYR6/6模 ④脚部/5 | ①石英、褐色を含む ②良好 ③SYR6/6模 ④脚部/5 | 内面はナダ、外曲はケズリ後下方ナダ、透し孔2ヶ所の一部より、復元2ヶ所。 | |
| 第175-6 図版5-6 | H-2 | 1 | 土師器 高环 | ①(14.9) ②(12.2) ③(13.6) 捜合部径4.9 | ①砂粒 ②普通 ③SYR6/6明歩鶴 ④接合部のみ | 内面はナダ、外曲は杯底ケズリ、接合部以下ナダ。 | |
| 第175-7 図版5-7 | H-2 | 一括 | 土師器 环 | ①(13.9) ②(12.9) ④(4.9) | ①砂粒、石英、褐色を含む ②普通 ③SYR6/6明歩鶴 ④小片 | 内面は口縁部ナダ後ハミガキ、外曲は口縁部ナダ、体部ケズリ、外斜口縫。 | |
| 第175-8 図版5-8 | H-2 | 一括 | 土師器 环 | ①(13.4) ②(12.8) ④(4.4) | ①砂粒、石英 ②普通 ③SYR6/6模 ④小片 | 内面は口縁部ナダ、外曲は口縁部ナダ、体部ケズリ。 | |
| 第175-9 図版5-9 | H-3 | 1 | 土師器 环 | ①(12.6) ②(12.0) ③(3.6) | ①砂粒、褐色地、石英 ②普通 ③SYR6/6模 ④小片 | 内面はナダ、外曲は口縁部ナダ、体部ケズリ。内黒。 | |
| 第175-10 図版5-10 | H-3 | 雁口方 一括 | 土師器 环 | ①(12.8) ②(13.6) ④(4.3) | ①砂粒、石英 ②普通 ③SYR6/42-52-53模 ④小片 | 内面はナダ後透焼処理、外曲は口縁部ナダ、体部ケズリ。 | |
| 第175-11 図版5-11 | H-3 | 一括 | 土師器 环 | ①(13.7) ②(13.6) ④(4.4) | ①砂粒 ②良好 ③SYR6/6明歩鶴 ④小片 | 内面はナダ後体部ハミガキ、外曲は口縫から体部上方までナダ、体部下方ケズリ、内斜口縫。 | |
| 第175-12 図版5-12 | H-3 | 一括 | 土師器 环 | ①(15.9) ②(14.9) ④(3.7) | ①砂粒 ②普通 ③SYR6/6模 ④小片 | 内面はナダ、外曲は口縫田はナダ、体部ケズリ。 | |
| 第175-13 図版5-13 | H-3 | 一括 | 土師器 环 | ①(12.9) ②(14.5) ③(3.6) | ①砂粒 ②良好 ③SYR6/1黒鶴 ④小片 | 内面はナダ、外曲は口縫田はナダ、体部ケズリ。 | |
| 第175-14 図版5-14 | H-4 H-5 | 一括 | 土師器 环 | ①(11.8) ②(9.9) ④(4.0) | ①褐色地、砂粒 ②普通 ③SYR6/6模 ④H1/3 | 内面はナダ、外曲は口縫田はナダ、体部ケズリ。 | |
| 第175-15 図版5-15 | H-5 | 一括 | 直腹器 不明 | ②(9.9) ④(1.2) | ①砂粒 ②普通 ③2.57/1灰白 ④小片 | セクロ成形。 | |
| 第175-16 図版5-16 | H-5 | 一括 | 直腹器 境 | ①(15.9) ④(2.6) | ②良好 ③2.58/1灰白 ④小片 | セクロ成形、灰焼漬け跡。 | |
| 第175-17 図版5-17 | H-6 | 11 | 土師器 付合縫 | ②9.4 ④(5.8) 接合部径4.9 | ①砂粒、石英 ②やや不良 ③SYR6/5付合鶴 ④接合部 | 内面は側面・右部ナダ、外曲は側面から接合部にかけてナダ、接合部から右部ケズリ、縫はナダ。 | |
| 第175-18 図版5-18 | H-6 23 | 直腹器 (酸化鉄 系) | ①(16.6) ②(8.0) ④(4.3) | ①砂粒、石英、閃開石、褐色地 ②普通 ③SYR6/5付合鶴 ④H1/4 | 輪轉成形、底部糸切り。 | | |
| 第175-19 図版5-19 | H-6 | 一括 | 直腹器 (酸化鉄 系) | ②4.3 ④(1.2) | ①砂粒 ②普通 ③SYR6/6模 ④退跡 | 内面は??、外曲は??、底部糸切り。 | |
| 第175-20 図版5-20 | H-6 | 3 | 土師器 若窓 凸窓径[24.6] | ①(21.6) ④(8.0) ③SYR6/12-15-17模 | ①砂粒 ②普通 ③SYR6/12-15-17模 ④口縫部1/5 | 内面は??、外曲は凸窓部より上方ナダ、下方はナダ。 | |
| 第175-21 図版5-21 | H-6 | 一括 | 直腹器 円錐埴輪 | 長さ4.5) | ①砂粒、石英、白粉 ②普通 ③SYR6/4浅黄模 ④底部小片 | 内面はナダ、底部指江調整、外曲はハケ目。 | |
| 第175-22 図版5-22 | H-6 | 一括 | 直腹器 円錐埴輪 | 長さ3.4) | ①砂粒、石英、白粉、長石 ②普通 ③SYR6/6浅黄模 ④小片 | 内面はナダ、外曲凸窓部付後ナダ。 | |
| 第175-23 図版5-23 | H-6 | 一括 | 直腹器 円錐埴輪 | 長さ2.8) | ①砂粒、石英、白粉、長石 ②普通 ③SYR6/6模 ④小片 | 内面はナダ、外曲凸窓部付後ナダ。 | |
| 第175-24 図版5-24 | H-6 | 1 | 直腹器 円錐埴輪 | 長さ7.0) | ①砂粒、石英、白粉、長石 ②普通 ③SYR7/7に近い模 ④底部小片 | 内面はナダ、底部指江調整、外曲はハケ目、敷物直瓶あり。 | |
| 第175-25 図版5-25 | H-6 | 5 | 直腹器 円錐埴輪 | 長さ10.0) | ①砂粒、石英、白粉、長石 ②普通 ③SYR8/4浅黄模 ④小片 | 内面はナダ、外曲はハケ目後凸窓部付後ナダ、透し孔。 | |
| 第175-26 図版5-26 | H-6 | 一括 | 直腹器 円錐埴輪 | 長さ4.0) | ①砂粒、石英、白粉、長石 ②普通 ③SYR7/7に近い模 ④小片 | 内面はナダ、外曲はハケ目後凸窓部付後ナダ。 | |
| 第175-27 図版5-27 | H-6 | 一括 | 直腹器 円錐埴輪 | ④(15.0) | ①砂粒、石英、白粉 ②普通 ③SYR6/4に近い模 | 内面はナダ、外曲はハケ目、底部ナダ、透し孔2ヶ所。 | |
| 第175-28 図版5-28 | H-6 | 一括 | 直腹器 平底 | 長さ6.1) | ①砂粒 ②良好 ③SYR6/1灰白 ④小片 | 内面は布目後力キ目、外曲はヘラナダ、わざかに自然彫。 | |
| 第175-29 図版5-29 | H-6 | 一括 | 直腹器 平底 | 残長6.5 | ①砂粒 ②普通 ③SYR7/7灰白 ④小片 | 内面は布目、外曲は縫隙叩き瓶く。ナダ消す。 | |
| 第175-30 図版5-30 | H-6 | 4 | 直腹器 鉢 | ①(18.0) ⑤(1.6) 重さ6.44 | ③SYR2/3縫隙 ④小片 | 内面、口縫部に沈線1条。 | |
| 第175-31 図版5-31 | H-6 | 7 | 鉢製品 鉢 | 長さ9.0) 是大輪6.8 重さ6.3 重さ23.83 | | | |

第3表 H-7・8・9・10・11・13遺物観察表

| 遺物番号 図版番号 | 出土位置 | 台帳 番号 | 特徴 | 法量 | ①出土土成 分・色調・性質 | 器形の特徴、形・態方法 | 備考 |
|--------------------|------|-----------|-------------|--|-----------------------------------|---|----|
| 第1858-8 図版8-32 | H-7 | 振り方1 | 土師器 环 | ⑩12.1 ⑪11.0 ⑭4.6 | ①砂粒、石英 ②良好 ③2.5W/6明歩道 ④2/3 | 内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。 | |
| 第1858-9 図版6-1 | H-8 | 15 | 土師器 环 | ⑩12.8 ⑪11.6 ⑭4.2 | ①砂粒、褐色 ②普通 ③7.5W/6明歩 ④1/2 | 内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。 | |
| 第1858-10 図版8-2 | H-8 | 一括 | 土師器 环 | ⑩11.8 ⑪10.3 ⑭4.8 | ①砂粒、褐色 ②普通 ③5W/7.6良 ④1/6 | 内面はナデ、外面けげ。 | |
| 第1858-11 図版8-3 | H-8 | 19 | 土師器 环 | ⑩11.8 ⑪10.9 ⑭4.8 | ①砂粒、褐色 ②良好 ③5W/7.8良 ④1/4 | 内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。 | |
| 第1858-12 図版8-4 | H-8 | 8-6 高环 | 土師器 环 | ⑩15.6 大径14.9 段壁[19.4] 小径[8.1] | ①砂粒、褐色 ②普通 ③5W/7.8良 ④小片 | 内面はナデ、外側は土段ナデ。下段ケズリ。 | |
| 第1858-13 図版8-6 | H-8 | 12.14 | 土師器 环 | ⑩11.8 ⑪11.1 ⑭4.0 | ①砂粒、褐色 ②良好 ③5W/6.6良 ④完形 | 内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。 | |
| 第1858-14 図版8-7 | H-8 | ■1 | 土師器 环 | ⑩12.5 ⑪10.8 ⑭4.1 | ①砂粒、褐色 ②良好 ③7.5W/7.6良 ④良 | 内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。 | |
| 第1858-15 図版8-8 | H-8 | ピット 一括 | 土師器 环 | ⑩12.0 ⑪12.6 ⑭4.1(4) | ①砂粒 ②良好 ③5W/7.4に良 ④口縁部1/3 | 内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。 | |
| 第1858-16 図版8-9 | H-8 | 19 | 土師器 环 | ⑩12.6 ⑪11.0 ⑭4.1 | ①砂粒、褐色 ②普通 ③5W/7.6良 ④完形 | 内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。 | |
| 第1858-17 図版8-10 | H-8 | 6 | 土師器 环 | ⑩11.8 ⑪10.4 ⑭4.1 | ①砂粒、褐色 ②普通 ③5W/7.5に良 ④1/3 | 内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。 | |
| 第1858-18 図版8-11 | H-8 | 19 | 土師器 环 | ⑩13.1 ⑪12.3 ⑭4.6 | ①砂粒、褐色 ②普通 ③5W/7.6良 ④2/5 | 内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。 | |
| 第1858-19 図版8-12 | H-8 | 4 | 土師器 環 | ⑩17.8 ⑪6.5 段壁[17.2] 大径[22.3] | ①砂粒、角閃石 ②やや不良 ③2.5W/2白 ④口縁部1/4 | 内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。 | |
| 第1858-20 図版8-13 | H-8 | 11 | 土師器 环 | ⑩12.5 ⑪12.6 ⑭3.8 | ①砂粒、褐色 ②良好 ③2.5W/5に良 ④完形 | 内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。 | |
| 第1858-21 図版8-5 | H-8 | 一括 | 高环 | ⑩4.5(3) 小径[5.4] 大径[7.8] | ①砂粒、石英 ②やや不良 ③10W/8/1褐色 ④小片 | 破壊成形、透し孔3ヶ所。 | |
| 第1858-22 図版8-14 | H-9 | 一括 | 灰陶器 高台付盤 | ⑩14.2 ⑪6.8 ⑭3.2 | ①砂粒 ②良好 ③2.5W/1灰白 ④1/5 | 破壊成形、高台接合後、赤切りナサ削す。灰陶鏡 が抜け。 | |
| 第1858-23 図版8-15 | H-10 | 5.23 | 灰陶器 高环 | ⑩10.0 小径[4.2] 大径[3.8] | ①砂粒 ②良好 ③NA/灰 ④脚部1/2 | 破壊成形、透し孔3ヶ所のうちの1つか。 | |
| 第1858-24 図版8-16 | H-10 | 14 | 土師器 环 | ⑩11.9 ⑪13.0 ⑭4.6 | ①砂粒、石英 ②良好 ③5W/4良 ④口縁部1/4 | 内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。内 底、裏元粘ら。 | |
| 第1858-25 図版8-17 | H-10 | 15 一括 | 土師器 環 | ⑩18.2 ⑪13.6 ⑭18.5 くびれ径[12.8] | ①砂粒、石英 ②普通 ③5W/4良 ④口縁部1/4 | 内面は口縁部ナデ、体部へラナデ、外底は口縫 部ナデ、体部ケズリ。 | |
| 第1858-26 図版8-18 | H-10 | 16 | 土師器 環 | ⑩18.0 ⑪18.0 大径[18.9] | ①砂粒、石英 ②普通 ③5W/7に良 ④底部1/4 | 内面はナデ、外面はケズリ。 | |
| 第1858-27 図版8-19 | H-10 | 21 | 土師器 环 | ⑩13.6 ⑪12.4 ⑭4.1 | ①砂粒、褐色 ②良好 ③2.5W/6良 ④1/2 | 内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。内 底。 | |
| 第1858-28 図版8-20 | H-10 | 7.10 | 土師器 环 | ⑩14.1 ⑪15.2 ⑭3.6 | ①砂粒 ②良好 ③2.5W/6良 ④1/3 | 内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。 | |
| 第1858-29 図版8-21 | H-10 | 22 | 土師器 環 | ⑩14.1 ⑪20.2 ⑭10.0 くびれ径[13.9] | ①砂粒、石英 ②普通 ③5W/2白 ④口縁部1/4 | 内面は口縫部ナデ、体部へラナデ、外底は口縫 部ナデ、体部ケズリ。 | |
| 第1858-30 図版8-22 | H-10 | 一括 | 灰陶器 环 | ⑩13.8 ⑪13.5 ⑭3(3.4) | ①砂粒 ②良好 ③NA/灰 ④小片 | 破壊成形、自然縫がかかる。 | |
| 第1858-31 図版8-23 | H-10 | 一括 | 灰陶器 环 | ⑩13.7 ⑪13.9 ⑭3(3.6) | ①砂粒 ②良好 ③NA/灰 ④小片 | 底部縫割あり。 | |
| 第1858-32 図版8-24 | H-10 | F1 | 土師器 环 | ⑩13.7 ⑪14.4 ⑭3(3.6) | ①砂粒 ②普通 ③2.5W/2白 ④1/3 | 内面はナデ、外面は口縫部ナデ、体部ケズリ。 | |
| 第1858-33 図版8-25 | H-11 | 3 | 土師器 高环 | ⑩12.2 ⑪12.4 ⑭5(5) | ①砂粒、石英、褐色 ②良好 ③5W/7良 ④口縁部1/3 | 内面は環状ナデ後へラミガキ、外面は环部口縫 部ナデ後へラミガキ、体部ケズリ後へガキ。 | |
| 第1858-34 図版8-26 | H-11 | 11 | 土師器 环 | ⑩16.5 ⑪10.6 ⑭6.4 | ①砂粒、石英、角閃石 ②普通 ③2.5W/6良 ④ | 内面はナデ後へラミガキ、外面は口縫部ナデ、 体部ケズリ、内凹口縫。 | |
| 第1858-35 図版8-27 | H-11 | 19 | 土師器 环 | ⑩12.8 ⑪11.9 ⑭6.6 | ①砂粒、褐色 ②良好 ③2.5W/6良 ④1/3 | 内面はナデ後へラミガキ、外面は口縫部ナデ、 体部ケズリ、内凹口縫。 | |
| 第1858-36 図版8-28 | H-11 | 一括 | 土師器 环 | ⑩13.9 ⑪13.2 ⑭5(4) | ①砂粒 ②普通 ③2.5W/6良 ④小片 | 内面は口縫部ナデ、体部ケズリ後へラミガキ、外 面は口縫部ナデ、体部ケズリ。 | |
| 第1858-37 図版8-29 | H-11 | 6 | 土師器 环 | ⑩13.2 ⑪11.7 ⑭5(4) | ①砂粒、褐色 ②良好、角閃石 ③2.5W/6良 ④小片 | 内面はナデ、外面は口縫部ナデ、体部ケズリ。 | |
| 第1858-38 図版8-30 | H-11 | 一括 | 土師器 環 | ⑩15.4 ⑪8.5 くびれ径[13.0] 大径[14.0] | ①砂粒、石英 ②普通 ③10W/8/4浅黄 ④口縁部1/3 | 内面はナデ、外面は口縫部ナデ、体部ケズリ。 | |
| 第1858-39 図版8-31 | H-11 | 13 | 土師器 甕・小瓶 | ⑩17.9 ⑪11.5 くびれ径[15.5] 大径[19.0] | ①砂粒、褐色 ②普通 ③10W/8/4浅黄 ④口縁部1/2 | 内面はナデ、外面は口縫部ナデ、体部ケズリ。 | |
| 第1858-40 図版8-32 | H-11 | F32 | 土師器 甕 | ⑩17.8 ⑪11.5 くびれ径[15.4] 大径[18.9] | ①砂粒、石英 ②普通 ③10W/8/4浅黄 ④口縁部1/3 | 内面はナデ、外面は口縫部ナデ、体部ケズリ。 | |
| 第1858-41 図版8-33 | H-11 | 一括 | 灰陶器 甕 | 長さ(9.1) 幅(3.0) 厚さ(0.3) 厚さ(1.1) 底さ(25.50) | ①砂粒 ②普通 ③2.5W/7.1褐色 ④小片 | 内面は凸底、外面は叩き底。 | |
| 第1858-42 図版8-34 | H-11 | 一括 | 石製 模造品 | ①(19.8) ②(13.1) ③(6.5) | ①砂粒、石英 ②普通 ③2.5W/5/2褐色 ④小片 | 内面はナデ、外面は口縫部ナデ、体部ケズリ。 | |
| 第1858-43 図版8-35 | H-12 | 振り方1 | 土師器 甕 | ⑩18.8 ⑪13.1 ⑭6(5) | ①砂粒、褐色 ②良好 ③2.5W/5/2褐色 ④小片 | 内面はナデ後へラミガキ、外面は口縫部ナデ、 体部ケズリ。 | |
| 第1858-44 図版8-36 | H-12 | 一括 | 土師器 甕 | ⑩12.0 ⑪10.8 ⑭5(5.1) | ①砂粒、褐色 ②良好 ③2.5W/5/2褐色 ④1/5 | 内面はナデ後へラミガキ、外面は口縫部ナデ、 体部ケズリ。 | |

第4表 W-1・2・3、D-5、調査区一括遺物観察表

| 調査番号 組合番号 | 出土 位置 | 台帳 番号 | 特徴 | 法量 | ①出土土成形 ②色調・性状 | | 器形の特徴、形・整備方法 | 備考 |
|-------------------------|--------------|-------------|-------------------------------------|---------------------------------------|--|---|--|----|
| | | | | | ③ | ④ | | |
| 第268-1 調査7-1 | W-1 | 2 | 灰陶輪25 环 | ③(23.3) ④(15.2) | ①砂粒 ②良好 ③SYB7/1灰灰 ④解部1/4 | | 輪縁成形、質から胴に灰板、耳根あり、耳の横出 は1箇所のみ、頭は位置を変えて作囲。 | |
| 第268-2 調査7-2 | W-1 | 1 | 土師器 环 | ①(10.8) ②(6.4) ③(0.5) | ①砂粒 ②普通 ③SYB6/2灰灰 ④解部 | | 輪縁成形、静止系切り、内底面ナデ。 | |
| 第268-3 調査7-3 | W-1 | 下層 一括 | 須恵器 环 | ①(11.8) ②(14.7) | ①砂粒 ②普通 ③SYA5/1灰灰 ④解部1/5 | | 輪縁成形、体盤上方灰施1条、耳出由体部下方へ 引切り。 | |
| 第268-4 調査7-4 | W-1 | 1 | 土師器 羽釜 | ①(19.1) ④(7.9) ⑤(22.1) | ①砂粒 ②普通 ③16YR8/2灰灰 ④小片 | | 内面、外面はナデ。 | |
| 第268-5 調査7-5 | W-1 | 一括 | 灰陶輪25 高台付灰 | ③(11.9) ②(6.0) ②(2.6) | ②良好 ③SYB6/1灰灰 ④1/5 | | 輪縁成形、高台貼付、灰施、見込みに目跡あり。 | |
| 第268-6 調査7-6 | W-1 | 一括 | 灰陶輪25 高台付灰 | ③(11.9) ②(4.8) | ②良好 ③SYB6/1灰灰 ④口縫部1/4 | | 輪縁成形、灰施。 | |
| 第268-7 調査7-7 | W-1 | 一括 | 灰陶輪25 長脚付灰 | ③(15.2) | ②良好 ③SYB6/1灰白 ④小片 | | 輪縁成形、灰施。 | |
| 第268-8 調査7-8 | W-1 | 上層 一括 | 綠陶輪25 高台付灰 | ③(19.2) ②(4.8) ④(4.2) | ②良好 ③濃緑色 ④3/4 | | 輪縁成形、濃緑色釉、見込みと高台にトランク 各3.0cm所あり。 | |
| 第268-9 調査7-9 | W-1 | 4 | 輪縁 円筒埴輪 | 長さ(7.8) | ①砂粒 ②石英、片岩粒、長石 ②やや不良 ③7. SYB7/6HP ④小片 | | 外面はナデ、外表面はハケ目、凸面貼付後ナデ。 | |
| 第268-10 調査7-10 | W-1 | 一括 | 瓦 | 長さ(4.3) | ①砂粒 ②普通 ③7. SYB6/5灰施 ④小片 | | 外面は布目、継ぎ目あり、凹面は織塵叩き。 | |
| 第268-11 調査7-11 | W-1 | 下層 一括 | 瓦 丸瓦 | 長さ(4.9) | ①砂粒 ②石英、長石 ③普通 ③7. SYB6/3に沿う ④小片 | | 外面は布目、凸面はケズリ。 | |
| 第268-12 調査7-12 | W-1 | 下層 一括 | 瓦 丸瓦 | 長さ(5.5) | ①砂粒 ②普通 ③7. SYB6/5灰施 ④小片 | | 外面布目、焼骨痕あり、凸面施塵叩き後粗ぐナ サ酒す。 | |
| 第268-13 調査7-13 | W-1 | 一括 | 瓦 丸瓦 | 長さ(7.5) | ①砂粒、褐色 ②普通 ③7. SYB6/5灰施 ④小片 | | 外面は布目、凹面はヘナダ。 | |
| 第268-14 調査7-14 | W-1 | 下層 一括 | 瓦 平瓦 | 長径6.6 | ①砂粒、石英、長石 ②普通 ③2. D5/1黄灰 ④小片 | | 外面は布目、粗ぐナデ酒す、凸はヘナダ。 | |
| 第268-15 調査7-15 | W-1 | 下層 一括 | 鉢 鉢形 | 長径(8.8) 幅(7.3) 厚さ(2.4) 重さ(219) | | | | |
| 第268-16 調査7-16 | W-1 | 一括 | 洞口 | 長径(4.7) 幅(6.5) 空隙径(1.8) | | | | |
| 第21回-1 調査7-17 | W-2 | 1,2 | 灰陶輪25 高台付灰 | ③(17.4) ④(4.1) | ②良好 ③2. D7/1灰白 ④口縫部1/3 | | 輪縁成形、灰施剥け脱。 | |
| 第21回-2 調査7-18 | W-3 | 一括 | 須恵器 环 | ③(13.9) ④(3.0) | ①砂粒 ②普通 ③10YR8/1灰白 ④小片 | | 輪縁成形。 | |
| 第21回-3 調査7-19 | W-3 | 一括 | 輪削品 輪削 | 長さ(6.8) 幅(0.5) 厚さ(0.5) 重さ(23.83) | ④端部欠損 | | | |
| 第21回-4 調査7-20 | B-5 | 一括 | 輪削品 セセル 環状 | 長さ(3.0) 最大径(1.1) 最小径(0.3) 重さ(4.07) | ④先端 | | | |
| 第21回-5 調査7-21 | 調査区 (W1南) | 一括 | 土師器 环 | ③(0.2) ②(6.1) ④(1.8) | ①砂粒 ②普通 ③7. SYB7/6HP ④1/3 | | 輪縁成形、底面系切り。 | |
| 第21回-6 調査7-22 | 調査区 | 一括 | 土製品 輪狀大筋5.1 | ③(5.6) | ①砂粒 ②普通 ③7. SYB7/1に沿う ④小片 | | 外面はナデ、外表面はナデ、ケズリ。 | |
| 第21回-7 調査7-23 | 調査区 (W1南) | 一括 | 土師器 环 | ③(19.9) ④(5.2) ⑤(13.8) | ①砂粒 ②普通 ③SYB6/8HP ④3/3縫部1/5 | | 外面はナデ、外表面はナデ。 | |
| 第21回-8 調査7-24 | 調査区 (W1南) | 一括 | 土師器 羽釜 | ③(18.9) ④(6.3) ⑤(22.6) | ①砂粒 ②普通 ③2. D7/2灰白 ④口縫部1/5 | | 輪縁成形。 | |
| 第21回-9 調査7-25 | (W1北) | 一括 | 須恵器 高台付灰 | ③(16.3) ④(5.2) | ①砂粒 ②普通 ③2. D7/3灰白 ④1/4 | | 輪縁成形、高台貼付。 | |
| 第21回-10 調査区 | 一括 | 須恵器 高环 | ③(11.6) | ④輪削環5.7 輪削最小径3.5 | ①砂粒 ②良好 ③2. D7/2灰白 ④脚部擦なし | | 輪縁成形、分離成形跡、开端脚跡接合。 | |
| 第21回-11 調査7-27 | 調査区 | 一括 | 須恵器 高环 | ④(4.1) | ①砂粒 ②普通 ③2. D7/2灰白 ④小片 | | 輪縁成形、透し孔3箇所、外面に沈線1条。 | |
| 第21回-12 調査区 (W1北) | 一括 | 須恵器 環 | ③(4.6) | | ①砂粒 ②普通 ②2. D7/3灰白 ④小片 | | 内面は当て其底ナデ酒す、外表面格子印記。 | |
| 第21回-13 調査区 (W1北) | 一括 | 須恵器 環 | ③(4.6) | | ①砂粒 ②普通 ③N4灰 ④小片 | | 輪縁成形、外表面は沈線2条の上波状。 | |
| 第21回-14 調査区 (W1北) | 一括 | 須恵器 人形 | ④(3.9) | | ④砂粒、石英 ②良好 ③10YR8/1灰白 ④小片 | | 「二」字形、輪削あり、内面は叩きで其底、外 面は叩き後ナデ酒す。 | |
| 第21回-15 調査区 (W1北) | 一括 | 輪削品 円筒埴輪 | | 長さ(7.7) | ①砂粒、石英、片岩粒、長石 ②普通 ③2. D7/4灰白 ④小片 | | 内面はナデ、外表面はハラ目後凸面貼付後ナデ、 透し孔。 | |
| 第21回-16 調査区 (W1北) | 一括 | 輪削品 円筒埴輪 | | 長さ(2.7) | ①砂粒、石英、片岩粒、長石 ②普通 ③2. D7/6灰 ④小片 | | 内面はナデ、外表面はハケ目。 | |
| 第21回-17 調査区 (W1北) | 一括 | 瓦 平瓦 | 長さ(2.5) | | ①砂粒 ②良好 ③2. D7/1灰白 ④小片 | | 外面は布目後カタリ目、凸面はヘナダ。 | |
| 第21回-18 調査区 (W1北) | 一括 | 輪削品 輪削 | 厚さ(0.5) 幅(2.2) 厚さ(0.3) 重さ(23.42) | | ④先端かぶり、底部欠損 | | | |
| 第21回-19 調査区 (W1南) | 一括 | 石製 模造品 | 長さ(9.1) 幅(2.8) 厚さ(1.8) | | ①滑石 | | | |
| 第21回-20 調査区 (W1南) | 一括 | 石製 模造品 | 長さ(7.0) 幅(2.8) 厚さ(1.2) | | ①滑石 | | | |
| 第21回-21 調査区 (W1南) | 一括 | | 厚さ(0.7) | | | | | |
| 第21回-22 調査区 (W1北) | 一括 | | 厚さ(0.7) | | | | | |
| 第21回-23 調査区 (W1北) | 一括 | | 厚さ(0.5) | | | | | |
| 第21回-24 調査区 (W1北) | 一括 | | 厚さ(0.5) | | | | | |

図版1 [遺構:H-1・2・3、D-1]



H-1 遺物出土状況（西）



H-1 全景（西）



H-2 全景（北）



H-3 全景（西）



H-3 挖り方全景（東）



H-3 挖り方全景（南）



H-3 挖掘方全景（南）



D-1 全景（西）

図版2 [遺構:H-4・5・6・7・14、D-3]



H-4・5・14全景(北)



H-4・5・14掘り方全景(北)



H-6全景(西)



H-6竪1全景(西)



H-6竪1掘り方全景(西)



H-6竪2全景(東)



H-7全景(北)



D-3全景(東)

図版3 [遺構 : H-8・9・10・11・12・13、D-2・4・5]



H-8、D-5 全景（東）



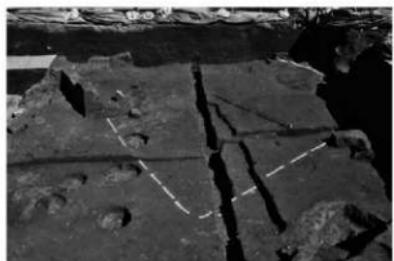
H-8 竪全景（東）



H-9・13、D-4 全景（北）



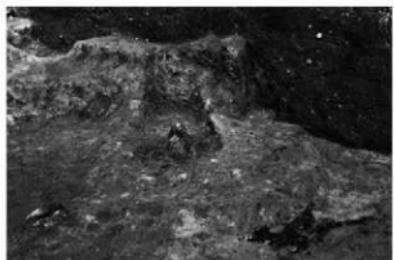
H-10 遺物出土状況（南）



H-10・12 全景（西）



H-11 全景（南）



H-11 竪全景（西）



H-11 竪掘り方、D-2 全景（西）

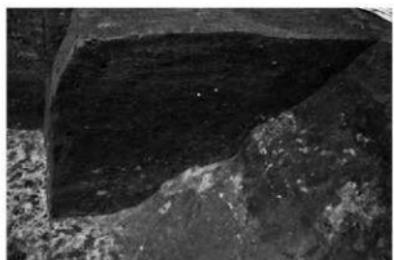
図版4 [遺構: W-1・2・3]



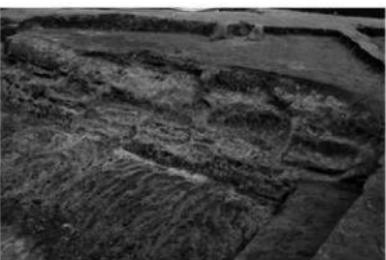
W-1 硬化面全景 (東)



W-1 炭化物・焼土検出状況 (北)



W-1 硬化面土層断面 (東)



W-1 竪構築材採掘坑全景 (南)



W-1 全景 (西)



W-1 土層断面 (西)

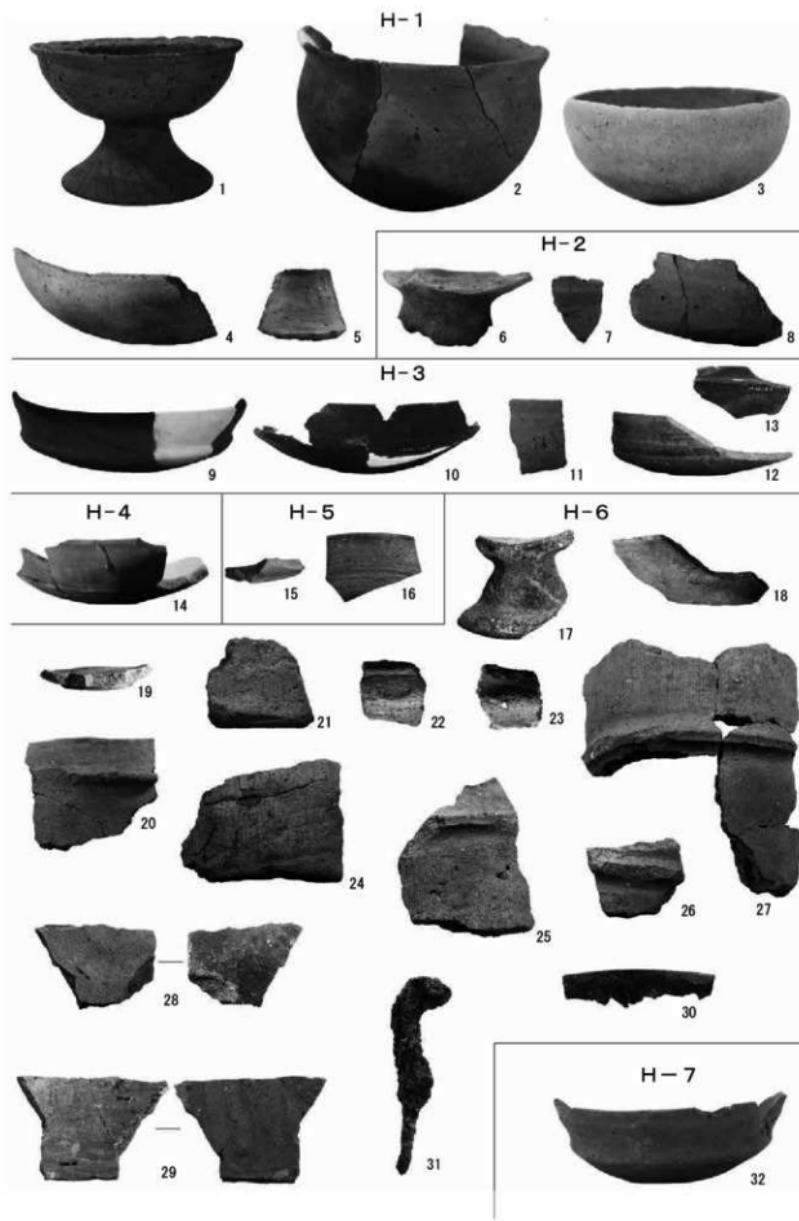


W-2 全景 (西)



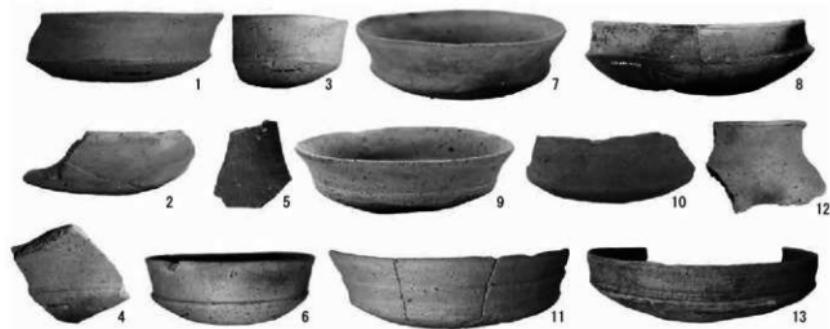
W-3 全景 (南)

図版5 [遺物:H-1・2・3・4・5・6・7]



図版6 [遺物 : H - 8 • 9 • 10 • 11 • 13]

H - 8



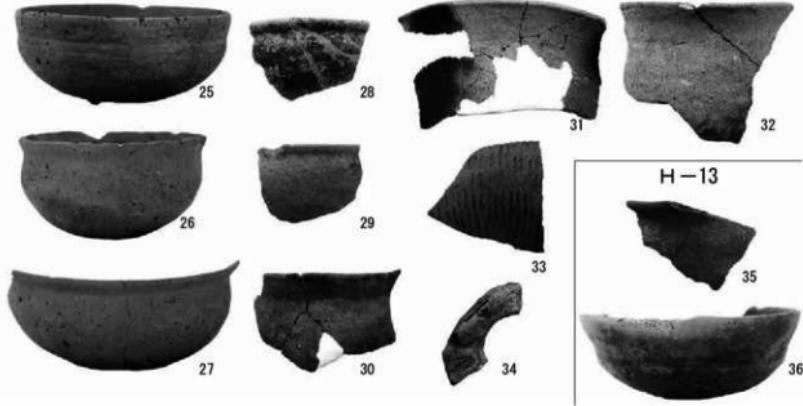
H - 10

H - 9



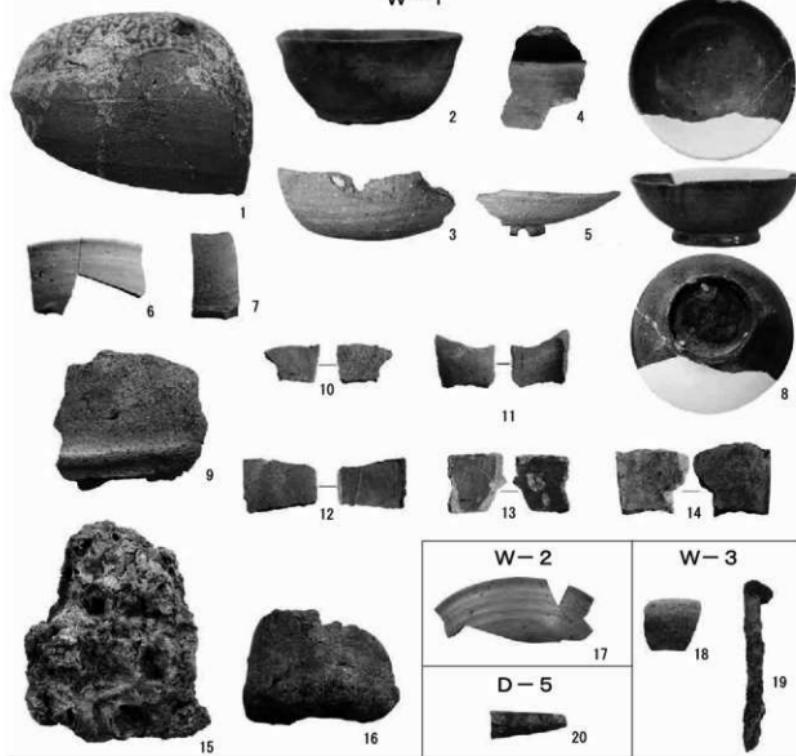
H - 11

H - 13

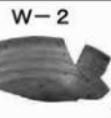


図版7 [遺物: W-1・2・3、D-5、調査区一括]

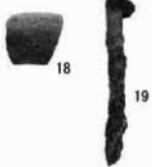
W-1



W-2



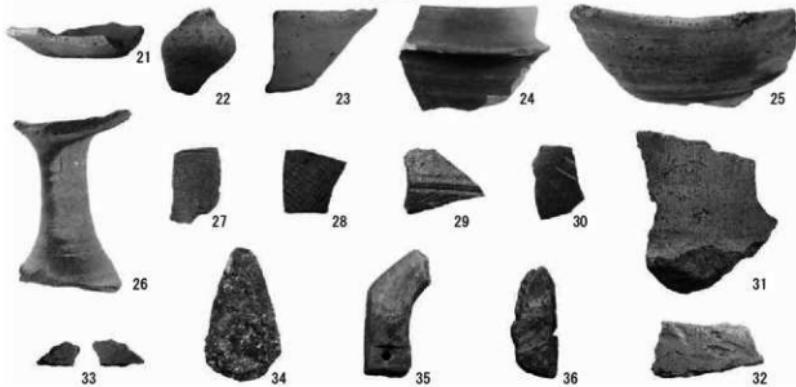
W-3



D-5



調査区一括



抄 録

| | |
|---------|--|
| フリガナ | モトソウジャオウミセキグン(134) |
| 書名 | 元総社蒼海遺跡群(134) |
| 副書名 | 前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 |
| 巻次 | |
| シリーズ名 | |
| シリーズ番号 | |
| 編著者名 | 並木史一（前橋市教育委員会） 瀧澤典雄（スナガ環境測設株式会社） |
| 発行機関 | 前橋市教育委員会事務局文化財保護課 |
| 発行機関所在地 | 〒371-0853 群馬県前橋市総社町三丁目11番4号 TEL 027-280-6511 |
| 編集機関 | スナガ環境測設株式会社 |
| 編集機関所在地 | 〒371-0056 群馬県前橋市青柳町211番地の1 TEL 027-234-7771 |
| 発行年月日 | 西暦2020年2月28日（令和2年2月28日） |

| フリガナ 所収遺跡名 | フリガナ 所在地 | コード | | 位置 | | 調査期間 | 調査面積 | 調査原因 |
|------------------------------------|---------------------------------------|-----------|----------|-----------|------------|-------------------------------|---------------------|-----------------------------------|
| | | 市町村 番号 | 遺跡 番号 | 北緯 | 東経 | | | |
| モトソウジャオウミセキグン 元総社蒼海遺跡群 (134) | 前橋市総社町総社 3588-1, 3588-2, 3588-3 | 10201 | IA241 | 36°23'19" | 139°02'28" | 2019.07.16 ～ 2019.09.26 | 259.0m ² | 前橋都市計画 事業元総社 蒼海土地区画 整理事業 |

| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 |
|-------------------|-------------------------|-----------------------------|-------------------------------|--|---------------|
| 元総社蒼海遺跡群 (134) | 集落跡 官衙門 連構 その他 | 古墳・平安時代 奈良～平安時代 中世・近世 | 堅穴住居跡14軒 溝跡1条 溝跡2条・土坑5基 | 土器類・須恵器・鉄釘 縦軸陶器・羽口・鍛滓 灰釉陶器・埴輪・瓦 キセル | 銅鏡破片 石製模造品 |

| | |
|----|---|
| 要約 | 5世紀後半から6世紀後半にかけての集落遺構が検出され、その中には一辻7.49mの大型堅穴住居跡も検出された。その集落が廃された後には、東西方位の直線状で断面形状が逆台形を呈する、上幅7.5m、下幅3.1m、深さ2.34mの大溝が開削されている。開削や埋没の年代不明である。覆土は類似した土層で短期間に内に埋没したようにみられ、10世紀後半には堅穴住居が重複して造られているので、それまでにはほぼ埋没し、As-B軽石が最上部に堆積しているので12世紀初頭には完全に埋没している。過去に同一線上の4地点で溝跡を検出しており、本地域は国府跡の存在が推定されている地域でもあり、大溝は少なくとも何らかの官衙区画溝として開削されたと理解される。 |
|----|---|

元総社蒼海遺跡群(134)

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2020年2月26日 印刷

2020年2月28日 発行

発行 前橋市教育委員会 文化財保護課

前橋市総社町三丁目11番4号

編集 スナガ環境測設株式会社

印刷 前橋市青柳町211番地の1

印刷 朝日印刷工業株式会社